

第六回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十號

明治二十七年五月二十六日(土曜日)

午前十時三十六分開議

議事日程 第十號 明治二十七年五月二十六日

午前十時開議

第一 紙幣模造取締法案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二 新聞紙條例中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(特別委員報告)

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君)

昨二十五日衆議院ヨリ政府提出(甲)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、(乙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、(丙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、(丁)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案、國稅徵收法中改正法律案、(己)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案、國稅徵收法中改正法律案、明治二十二年勅令第四百四十一號第一條改正法律案、明治二十三年法律第四號中改正法律案、軍用電信條例法律案、實業教育費國庫補助法案、是レ丈ケノ案ヲ受領致シマシテゴザイマス、今朝政府ヨリ通牒ヲ受領致シマシタニ依ッテ書記官長ナシテ朗讀致サセマス、

〔中根書記官長朗讀〕  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案三件  
右法律案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段及要求候也  
明治二十七年五月二十六日  
內閣總理大臣伯爵 伊藤博文

鐵道敷設法中改正法律案  
右法律案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段及要求候也  
明治二十七年五月二十六日  
內閣總理大臣伯爵 伊藤博文

貴族院議長侯爵蜂須賀茂詔殿  
鐵道比較線路決定ニ關スル法律案  
右法律案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第二十八條但書ニ依リ議定相成度今段及  
要求候也  
明治二十七年五月二十六日  
內閣總理大臣伯爵 伊藤博文

貴族院議長侯爵蜂須賀茂詔殿

鐵道比較線路決定ニ關スル法律案  
右法律案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第二十八條但書ニ依リ議定相成度今段及  
要求候也

貴族院議事速記錄第十號

明治二十七年五月二十六日

議長ノ報告

要求候也

明治二十七年五月二十六日

內閣總理大臣伯爵 伊藤博文

貴族院議長侯爵蜂須賀茂詔殿

實業教育費國庫補助法案

右法律案ハ緊急事件ニ付議院法第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段及要求候也  
明治二十七年五月二十六日  
內閣總理大臣伯爵 伊藤博文

貴族院議長侯爵蜂須賀茂詔殿

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 今朝安場保和君ヨリ三十三名ノ贊成ヲ以チマシテ沖繩縣八重山島風土病驅除建議案ヲ發議セラレマシテゴザイマス、今朝男爵小澤武雄君藤村紫朗君ヨリ三十名ノ贊成ヲ以チマシテ靜岡縣佐野郡南鄉村境界變更ニ關スル質問書ヲ提出致サレマシタニ依ッテ直ニ政府ニ送付致シマシテゴザイマス、國事ニ關スル犯罪ノ爲メ諸君ヲ沒收セラレタル者ニ關スル法律案ノ特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ公爵二條基弘君、副委員長ニ安場保和君當選ニ相成リマシタ、鐵道比較線路決定ニ關スル法律案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ公爵近衛篤磨君、副委員長ニ子爵由利公正君當選ニ相成リマシタ、次ニ本日ノ議事日程ニ移リマス、紙幣模造取締法案、第一讀會ノ續キテ開キマス、特別委員長ノ報告、

〔藤村紫朗君演壇ニ登ル〕

○藤村紫朗君 紙幣模造取締法案特別委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、右ハ委員長中御門侯爵ヨリ報道致サル、答デアリマシタガ同侯爵ハ病氣ノタメニ委員會ニ御出席ヲ致サレマセメデアリマシタニ附キマシテ、委員會ノ經過等ヲ承知ヲ致サレヌ所カラ私代メテ御報告ヲ致ス様ニト云フコトデゴザイマス、右ハ御承知ヲ願ヒマス、本法案ノ大體ニ附キマシテハ此紙幣模造取締法ト云フコトハ必要デアルト云フコトヲ委員會ノ一致ヲ以テ可決致シマシテゴザイマス、政府ハ當時世間ニ傳播シテ居リマス紙幣模造ノ各種ヲ取集メテ參考ノタメニ委員會ニ差出サレテゴザイマスガ餘程其種類モ多イ様デアリマス、尙ホ本莊子爵ノ紹介ヲ以チマシテ犯罪ノ用ニ供シマシテ裁判所ニ沒收ニナッテ居リマスル模造紙幣ヲ借受ケマシテ是レモ一覽致シマシテゴザイマスガ餘程澤山ノ種類デアリマス、其中ニハ製造方ノ精粗ノ別ハゴザイマスガ孰モ概シテ巧ミナモノデ、既ニ其模造紙幣ハ犯罪ノ用ニ供シマシテ裁判所ニ於

紙幣模造取締法案 第一讀會ノ續

テ没收セラレタノヲ見マスト世間ニ害ヲ及ボスニ相違ナイト云フコトヲ感ジ  
マシテゴザイマス、是レヨリ原案ヲ修正致シマシタ次第申述ベマス、第二  
條ニ於テ「所有ニ屬スルモノ」ト云フヲ「所持ニ係ルモノ」ト云フコトニ修正  
ヲ致シマシタノハ少シク理由ガアルノデゴザイマス、一體此有害ナル模造品  
ガ世間ニ傳播セヌ様ニト云フ取締目的ヲ達シマスルノニハ此ノ所有ニ屬スル  
モノトアリマスト例ヘバ警察官ガ之ヲ認メタトキニ是レハ他人ノモノデア  
ル、或ハ借リタモノダト云フ様ナコトガアツテハ直ニ夫レヲ差押ヘルト云フ  
コトノ差支ヲ生ジヤウカト斯ウ云フノデ所有ノ有無ニ拘ラズ所持シテ居ルモ  
ノヲ見タトキハ夫レヲ取押ヘルコトガ出來得ル様ニト云フ趣意カラ致シテ所  
持ニ係ルモノト云フ修正ニナリマシタノデゴザイマス、第四條ヲ加ヘマシタ  
ノハ此明治九年布告ノ第五十七號ト申シマスノハ贋造金銀銅貨紙幣等取扱  
規則ト云フモノガアリマス、夫レハ銀行又ハ爲替方又ハ兩換店又ハ官廳ニ於  
テ貨幣ノ鑑定ヲ致シマスル際ニ不正ノ贋造品等ヲ發見致シマシタトキニハ其  
所持人ノ面前ニ於テ截斷ヲセヨト云フコトガアリマス、夫レデ此模造紙幣モ  
或ハ多數鑑定ナドナル中ニ發見スルカモ知レナイ、其處分ノ途ガナイトキ  
ニハ其鑑定人ハ唯模造ダト云フコトヲ示シテ本人ニ差戻スヨリ外ニ仕樣ガナ  
イ、然ルニ此取締法ヲ設ケル上ニ附イテハ夫レヲ發見シタ時分ニ又所持人ニ  
差戻スト云フコトニ致シテハ完全ヲ缺キマスルニ附キマシテ此明治九年布告  
第五十七號ヲ適用スルコトニシタナラバ又一端ノ取締ニナラウカト云フ趣意  
ヲ以テ追加ニナッタノデゴザイマス、大要修正致シマシタ趣意ハ斯ノ如キ譯  
デゴザイマス、速ニ御贊成ニナツテ通過アラムコトヲ希望致シマス、

○子爵谷干城君 少シク御尋子シタウゴザイマスガ、此明治九年ノ布告ハ  
私ハ誦讀致シマセヌガ、ドウ云フノデスカ、

○藤村紫朗君 贋造金銀銅貨紙幣等取扱規則ト云フノデアリマス、チヨッ  
ト其文ヲ讀ミマス「銀行又ハ爲替方又ハ兩替屋又ハ官廳ニ於テ備入候鑑定  
人等金銀銅貨紙幣ヲ鑑定ノ節贋造品取扱規則左ノ通相定候」ト斯ウ云フコト  
デゴザイマシテ、其贋造品ヲ見出シタトキハ其原由及持主ノ宿所姓名ヲ尋子  
テ其面前ニ於テ截斷セヨト云フコトデゴザイマス、

○子爵谷干城君 面前ト云フノハ……

○藤村紫朗君 持主……鑑定ヲ受ケル者デアリマセウ、

○子爵谷干城君 夫レハ分リマシタ、此第三條ノ所持ト所有ト云フコトニ  
附イテ大變區別ノアル様ニ御説キニナツタ様デゴザイマスガ、所持ト云フ方  
ノ側デ云フト唯使ニ往ッタ者デ所有ト云フト或ハ所有主ガ持ッテ居タト云フ  
コトデスカ、

○藤村紫朗君 其積リデゴザイマス、所持ト申シマスト例ヘバ使ニ參ル者

ガ持ッテ居ッテモ借用シテ持ッテ居ッテモ他ニ所有主ガアツテモ所有所持ノ  
區別ナク所持スル者ハ差押ヘルコトヲ得ルト云フ積リデ修正ニナツタノデゴ  
ザイマス、

○子爵谷干城君 差押ヘデハアリマスマイ、没收スルト云フ……

○藤村紫朗君 左様デゴザイマス、

○子爵谷干城君 ソコデ此没收ハ……差押ナラバ分リマスガ没收ト云フコ  
トニナルト即チ其所有權ヲ没收スルコトニナル、固ヨリ是レ等ノ事ニ附イテ  
ハ餘程御吟味ノアツタコトト思ヒマスガ、輒ク人ノ所有ヲ没收シテモ宜シイ  
ト云フ御考ヘデゴザイマスカ、

○藤村紫朗君 無論、世間ニ有害ナルモノヲ取締ル法則デアリマスカラ其  
傳播ヲ防グト云フ目的カラ致シマシテ差支ナイト云フ考ヘナノデアリマス、

○子爵谷干城君 ソコデチヨット例ヲ設ケテ申シマスト斯ウ云フコトガ出  
來ヤウト思フ、茲ニ谷干城ナラバ谷干城ト云フ者ガアル、所ガ是レガ眼ガ惡  
ルクシテ夫レヲ受取ツタ、サウシテ夫レヲ本統ノ物ト思フテ何モ分ラヌ婦女  
子ニ之ヲ渡ス、ソコテ其婦女子ハ谷干城ヨリ其模造紙幣ヲ受取ッテ夫レヲ持  
ッテ往ッテ見ルト行ケナイ、直グニ取上ゲラレル、所ガ若シ是レガ唯差押ヘ  
タノミデ没收サレヌトキハ夫レヲ訴ヘレバ眼ガ惡ルカッタ、誠ニ氣ノ毒ダ、  
其代リヲ遣ラウト云フコトモ出來マスガ、夫レヲ没收スルト云フトキハ唯取  
上ゲラレテ所有權ヲ失フ、夫レ等ノコトハ隨分私ハ多カラウト思フガ御詮議  
ニナッタノデスカ、

○藤村紫朗君 左様ナ細カナコトマデノ詮議ハ委員會ニハアリマセヌデシ  
タ、前ニ御答ヘシタ通り有害品ヲ成ルベク傳播サセムト云フ目的ヲ達セムガ  
タメニ所有ノ有無ニ拘ラズ持ッテ居ル者ハ差押ヘ没收スルト云フ丈ケノ考ヘ  
デアリマス、

○子爵谷干城君 サウ云フコトニナルト没收ト云フト直グニ取ラレテ仕舞  
フ、差押ト云フト返スト云フコトガアル、或ハ又處分ノ仕樣ガアル、御説明  
ダト差押ヘル様ニモアリ没收スル様ニモアリ不分明デアリマス、

○藤村紫朗君 茲ニ書イテアル通り没收デアリマス、没收ト云フノチ私ハ  
言葉デ差押ヘト云ッタノデアリマス、

○村田保君 本員モ質問致シマス、此第一條ニ「紙幣ニ紛ハシキ外觀ヲ有  
スルモノヲ製造シ又ハ販賣スルコトヲ得ス」トアル、模造ノ紙幣ヲ製造シタ  
リ販賣シテハナラヌト云フコトガアル、製造シテハナラヌト云フト法律ニ於  
テ禁制シタル物件ト云フコトニナルト思ヒマス、所ガ刑法ノ四十四條ニ「法  
律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ没收ス」トアル、即チ是  
レハ法律ニ於テ禁制シタル物件ニ違ヒナイト思ヒマスガ、委員デハ刑法ノ四

十四條ノ彼ノ條トドウ云フ關係ヲ持ッテ居ルト云フ御調ベデアリマスカ、夫レチ一ツ伺ヒタイ、夫レカラ此第三條ノ沒收ノコトニ付キマシテハ唯今谷君カラ御尋子ニナリマシタカラ申シマセヌガ、先ヅ暫ク沒收ト云フ字ニシマシテモ宜シウゴザイマスガ、「警察官ニ於テ之レヲ沒收スルコトヲ得」ト云フコトガアル、サウシマス第一條ノ禁制シタル物件デゴザイマスカラ製造スルコトモナラヌ又賣ルコトモナラヌ、之ヲ警察官ガ沒收スルコトヲ得トアルト沒收シナクモ宜イ、沒收スベシト云ヘバ必ズ警察官ガ沒收シナケレバナラヌ、警察官ニ於テ之ヲ沒收スベシトアレバ第一條ノ禁制シタル物件ハ必ズ沒收シナケレバナラヌ、所ガ沒收スルコトヲ得ト云ヘバ或ハシナクテモ宜イト云フコトニナル、其處ハドウ云フモノデスカ、矢張りシナクテモ宜イト云フコトデ「得」ノ字ヲ入レタノデアリマスカ、必ズ斯ウ云フモノヲ製造シタリ販賣シタリスルコトハ出來ヌカラ警察官ガ沒收シナケレバナラヌト云フノデスカ、或ハ得デアアルカラシナクテモ宜イト云フノデアリマスカ、夫レチ御尋子シタイ、

○藤村紫朗君 先キノ箇條ヨリ御答ヘ致シマスガ、模造品ハ即チ刑法ノ四十三條ノ第一項ニ「法律ニ於テ禁制シタル物件」トアルノデゴザイマス……

〔村田保君〕私ノ御尋子致シマシタノハ、四十四條デゴザイマス」ト述ブ

夫レチ警察官ニ於テ沒收スルト云フコトハ其但書ニ「法律規則ニ於テ別ニ沒收ノ例ヲ定メタルモノハ各其法律規則ニ從フ」ト云フコトガアリマス……

〔村田保君〕夫レハ四十三條デアリマス、四十四條ヲ御尋子シタノデアリマス」ト述ブ

私ノ御答ヘシマシタノハ四十三條ノ但書ニ依テ差支ナイト云フ議論ニ纏ッタノデゴザイマス、

〔村田保君〕四十四條ヲ御尋子シタノデス」ト述ブ

四十四條ハ私ハ此處ニ持チマセヌガドウ云フコトデスカ、

〔村田保君〕四十四條ハ法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハズ之ヲ沒收スルト云フコトガアル、法律ニ於テ禁制シタルモノデアアルカト云フ御尋子」ト述ブ

夫レハ法律ニ於テ禁制シタル物件ト云フ考ヘデアリマス、夫レチ刑法ノ四十三條ノ但書ニ依ッテ別ニ沒收ノ例ヲ定メルト云フコトデ夫レチ警察官ニ於テ沒收スルコトヲ得セシムルト云フ考デゴザイマス、第二ノ御問ヒハ其事モ委員會デ議論ハ出マシテゴザイマスガ、抑、此法律ハ警察官ニ向ッテ……警察官ノミニ向ッテ命令スルモノデハナイ、一般ニ布クモノデアッテ、言ハバ警察官デ之ヲ沒收スルコトヲ得ト云フノ沒收スルカモ知レヌヨト云フ意味ナ

以テ出ス様ナモノデアルカラ、是レデ宜カラウト云フ様ナコトデ決定シマシタノデゴザイマスガ御意見ガアリマスナラバ……

〔村田保君〕夫レナラバ沒收シナクテモ宜イノデスカ」ト述ブ

書イテアル通りデ警察官ガ沒收スル時ハ沒收スルノデアリマス、善イノ惡ルイノト云フコトハ一向ナイ、

〔村田保君〕警察官ノ考ヘ次第ト云フコトニナルノデスカ」ト述ブ

左様デゴザイマス、

○田中芳男君 本員モ御尋子致シタウゴザイマス、此第四條ガ新ニ設ケラレマシタガ、是レハ全體原案デハ九デナイコトデゴザイマスガ、原案デ落チマシタカラシテ新規ニ入レマシタノカ、或ハ原案ノ立チマス頃ニハ斯様ナ條ヲ適用センデモ宜イト云フコトニナッタノデゴザイマスカ、如何デゴザイマスカ、

○藤村紫朗君 其事ハドウゾ政府委員カラ御答ヘニナルデゴザイマセウ、

○男爵渡邊清君 唯今村田君ノ御問ヒニ沒收スルコトヲ得ルト云フコトノ趣意ヲ辯明ニナッタデアリマスガ、本員杯ノ考ヘデ見ルト沒收スルコトヲ得ルト云フノハ特ニ警察官ニ許スノ言葉デ、當リ前チ云ヘバ裁判官ガ手續ヲ履

ンデ沒收スベキノデアルケレドモ、之ニ限ッテ警察官ニ於テ沒收スルコトヲ得ルト特ニ與ヘタノデハナイカト考ヘテ居リマシタガ、夫レナラ差支ナイ様ニアルガ其邊ハ違ヒマスデゴザイマスカ、

○藤村紫朗君 先キノ村田君ニ御答ヘ致シマシタ積リデゴザイマスガ、沒收スルコトヲ得ト云フト沒收シテモ宜イ又シナクテモ宜イト云フコトニ見エ

マスガ、此法律ハ單リ警察官ニ向ッテ命令スルノデハナイ、人民ニ示スノデアアル、本來ガ持ッテ居レバ取上ゲラレルカモ知レヌ、沒收サレルカモ知レヌ

グト云フ様ナ意味ガアルニ附イテ是レデ宜カラウ、之ヲ沒收スルトセヌトハ警察官ノ寬嚴ニアルノデゴザイマシテ、是レデ法律ノ目的ヲ達スルコトガ出

來ヌ、或ハ緩慢デアルト云フ御考ヘナラバドウゾ修正說ノ御提出ヲ希望致シマスル、

○男爵植村正直君 先刻ノ御演說中ニ本莊子爵ヲ以テ裁判所ニ照會シタト云フ斯ウ云フコトデゴザイマスガ夫レハ議院法ノ四十四條ニ差支ハアリマセ

ヌカ、

○藤村紫朗君 決シテ議院法ニ依ッテ議院ヨリ紹介シテ借りタト云フノデハナイ、本莊子爵ニ依頼致シマシテ見タノデゴザイマス、夫レハ本莊子爵ガ

裁判所ニ向ッテ借受ケタノデゴザイマス、

○男爵植村正直君 ドウ云フ規則ニ依ッテ……

○藤村紫朗君 規則ニハ依リマセヌ、此景況ヲ確メルタメニ見タノデアリ

マス、規則ニハ何モアリマセヌ、

○男爵榎村正直君 規則ナシデゴザイマスカ、

○藤村紫朗君 ハイ、

○村田保君 先程田中君カラ政府委員ニ質問ガゴザイマシタガ政府委員ニドウカ説明ヲ求メマス、

○政府委員(田尻裕次郎君) 是レカラ申上ゲマスルガ第四條ハ政府案ニハナイノデゴザイマス、是レハ委員ニ於テ特ニ氣付カレマシテサウシテ這入

タ條デアリマシテ、政府ニ於テモ之ニ異存ハ言ハナカッタノデゴザイマス、委員會ニ於テハ此通り差支ナイト云フ政府ハ見込デアリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 他ニ御發言モゴザイマセバ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 過半数ト認メマス、

○尾崎三良君 緊急動議ヲ提出致シマスガ、其緊急動議ノ趣意ハ鐵道比較

線路ニ關スル決定法案其他數件昨日衆議院ヨリコチラニ送付ニナリマシタ案デゴザイマスガ、是レハ豫テ政府ヨリモ緊急事件デアルニ依ッテ早ク議定ナシテ吳レト云フ請求モアリマスシ、旁、此際議事日程ヲ變更シテ直ニ此法案ノ第一讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス、ドウカ滿場諸君モ御同意デ此事ニ贊成ヲ希望致シマス、

○子爵松平信正君 尾崎君ノ動議ニ贊成致シマス、

○男爵伊達宗敦君 贊成、

○松本鼎君 尾崎君ヲ贊成シマス、贊成シマス趣意ナ一言致シマスガ、是レハ政府カラ緊急事件ト云フ要求ガゴザイマスシ、且ツ昨日ノ比較線ニ連絡シテ居ルコトデモアリマスルカラ、唯特別委員ニ付スルト云フ丈ケデ格別時間ヲ費スコトハナイト思ヒマスカラ、夫レデ尾崎君ニ贊成致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 尾崎君ノ唯今ノ御動議ハドレドレデゴザイマスカ、

○尾崎三良君 昨日衆議院ヨリ回ハリマシタ鐵道ニ關スル法案悉クデゴザイマス、夫レデ申セバ鐵道比較線路決定ニ關スル法案(乙)ト云フ字ガアリマス、夫レカラ豫定線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、之ガ

甲乙丙ト云フマデデゴザイマス、先ヅ夫レ丈ケノ積リデゴザイマスガ、若シ漏レテアッタナラバドウゾ入レテ戴キタイ、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 夫レデ、モ一ツ鐵道敷設法中改正法律案ト云フノガアリマス、夫レハドウナリマスカ、

○尾崎三良君 ソンナラ夫レモ……是レハモウ第一讀會ノコトデゴザイマスルデ必ズ特別委員ニ付託スルコトニナリマセウト思ヒマスカラ、左スレバ數ガ多クテモ何モ其様ニ御迷惑ハアルマイト思ヒマスカラ、ドウカ一緒ニ纏メテ出ス様ニ致シタイト思ヒマス、ドウゾ是レモ一緒ニ……

○子爵小笠原壽長君 本員ハ唯今第一讀會ヲ御開キニナリマシタ紙幣模造取締法案ハ格別時日ヲ費ス法案デハナカラウト思ヒマスカラ本員ハ直ニ議事日程ヲ變更シテ第二讀會ヲ開カレムト云フコトヲ希望スルト云フ動議ヲ提出致シマス、

○村田保君 本員ハ尾崎君ニ贊成、

○子爵日野西光善君 小笠原子爵ニ贊成、

○子爵本莊壽巨君 小笠原君ノ動議ニ贊成シマス、

○子爵曾我祐準君 私ハ尾崎君ニ贊成致シマス、鐵道ニ係ル法律案ハ數ク委員會ノ方ニ回ッテ居リマスガ、彼ノ連帶アル問題ノタメニ撈取ガ甚ダ宜シクナイデゴザイマス、夫レ故ニ尾崎君ガ此動議ヲ提出サレタコトト思ヒマス、尾崎君ニ贊成致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) ニツノ動議ガ成立ッテ居ル、一ツハ此紙幣模造取締法律案第二讀會ヲ直ニ開クト云フ小笠原子爵ノ動議、夫レト議事日程ヲ變更シテ直ニ鐵道ニ係ル法案即チ尾崎君ガ唯今述ベラレタ五ツノ案ノ第一讀會ヲ開クト云フ動議ガアリマス、順序ニ決ヲ採リマス、小笠原子爵ノ動議ニ係ル紙幣模造取締法律案第二讀會ヲ直ニ開クト云フ之ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 少數デゴザイマス、次ニ尾崎君ノ動議ニ係ル鐵道案五件、之ヲ議事日程ヲ變更シテ直ニ第一讀會ヲ開クト云フ之ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 過半数ト認メマス、依ッテ議事日程ヲ變更致シマシテ直ニ開クトニナリマス、先ヅ(甲)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、此第一讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス、

○安場保和君 議長、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 唯今朗讀ナサセマス、

○安場保和君 其前ニ申立テテ置キタイコトガアリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 此案ニ附イテノ御發議デゴザイマスカ、

○安場保和君 此案ト連續シテ居リマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 夫レナラ朗讀ノ後ニ……

○安場保和君 併シ朗讀ノ前ニ申立テタイノデゴザイマス、併シ御許シガナケレバ仕方ガゴザイマセヌ、其朗讀ノ事ニ附イテデゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 安場君、

○安場保和君 唯今尾崎君ノ動議ニ依ッテ議事日程ヲ變更シマスノデアリセウガ、此節ノ議會ハ僅ニ三週間ノ短期ノ極點ナル會期デアリマス、殊ニ緊急ノ動議ハ續々政府ヨリ提出ニナリマシテ既ニ數ニ緊急議案トシテ委員ニ付託セズニ議セヨト云フ様ナ請求モゴザイマシタ位ノコトデアリマスカラ、寸時間モドウモ時間ヲ惜ミタイト思ヒマスカラ、唯今五ツバカリノ議案ヲ議事日程ヲ變更シテ議セラル、ト云フコトニナリマシテハドウウ唯今ノ議案朗讀ニ引續イテ總テノ議案ヲ朗讀ニナッテ時間ヲ省キタイト存ジマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 夫レハドウモ規則ニ背キマス、第一議會ハ一ツ一ツノ案ヲ開クノデアリマカラ、第一議會ヲ幾ツモ一遍ニ開クコトハ出來マセヌ、

○安場保和君 規則ニ背イテ居ルコトハ存ジテ居リマスガ、便法トシテ出來ルコトト思ヒマシテサウシタイト云フ意見ヲ述ベマシタ譯デ御取捨ハ議長ニアリマスコトデ……

○子爵曾我祐準君 唯今朗讀ニナラムトスル案ハ鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(三)ト云フ印シノアリマス案デゴザイマスカ、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) イエ、豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、

○子爵曾我祐準君 更ニ伺ヒマスガ、比較線路決定ニ關スル法律案ガマダ一ツ委員ニ付託ニナラヌノガアリマス、即チ甲乙丙丁戊マデアリマスガ(巳)ガ一ツ殘ッテ居ル、チヨット申上ゲマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 夫レハ順序ガ後ニナリマス、

〔有賀書記官朗讀〕

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

右政府提出案本日本院ニ於テ修正議決セリ仍テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十七年五月二十五日

衆議院議長 楠 本 正 隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂詔殿

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一東京府下上野ヨリ千葉縣下千葉倉ヲ經テ銚子ニ至ル鐵道線ヨリ分岐シテ木更津ニ至ル鐵道線中千葉縣下千葉ヨリ曾我町ニ至ル鐵道  
一福岡縣下久留米ヨリ山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ至ル鐵道線中熊本縣下山鹿ヨリ植木ニ至ル鐵道

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ本線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サ、ルトキハ其ノ建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ附スヘシ

○山川浩君 政府委員ハ説明シマスカドウデスカ此案ニ……

○政府委員(末松謙澄君) 急ニ議事日程ガ御變更ニナッタモノデスカラマダ來マセヌガ今來ル様ニ呼ビニヤリマシタ、私ハ當局者デアリマセヌカラ……

○子爵曾我祐準君 政府委員ノ説明モ必要カハ存ジマセヌガ是レハ詰マリ委員ニ付託ニナッテ調査スベキモノデアリマセウニ依ッテ私ハ此際之ヲ委員ニ付託スルト云フ動議ヲ提出致シマス、

○三浦安君 贊成、

○村田保君 本員ハ贊成ハ致シマスガ、ドウカ是レハ期日ヲ限リタイ、ドウカ明後日中ニ報告ニナル様ニ致シタイト思ヒマス、

○尾崎三良君 曾我君ニ贊成、

○松本鼎君 曾我君ニ贊成致シマスガ、併シ特別委員ハ昨日ノ特別委員ニ付託シマシテ同様ニ今日ヨリ四日間内位ニ收メテ欲シイト思ヒマス、

○尾崎三良君 唯今ドナタカラカ明後日中ニ取調ベテ報告スル様ト云フ説ニ贊成致シマス、

○子爵曾我祐準君 日時ヲ二日ト云フコトハ實際無理ト思ヒマスニ依ッテ私ハ四日間ヲ置キタイト云フ動議ヲ提出致シマス、昨日モ諸君四日位ガ適當ト云フコトデ御贊成ガアリマシタカラ多分此説ニハ皆サン御贊成下サルコトト存ジマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 幾日デスカ、

○子爵曾我祐準君 四日デス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) サウスルト松本君ニ贊成デスナ、

○山川浩君 唯今ドナタカノ御發言デアリマスカ前ノ鐵道委員ト同一委員ニ付託スルト云フ説ガ出マシタガ、中ニ鐵道ノコトハ調査ナスル件々モ澤山デアリマスカラ速モ出來マイト思ヒマス、故ニ別ニ此委員ヲ議長ヨリ指名セラレムコトヲ望ミマス、

○伯爵小笠原忠忱君 山川君ニ贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 曾我子爵ハ四日間ト云フコトヲ松本君ニ贊成  
デスカ、或ハ同一委員ト云フコトヲ贊成デスカ、

○子爵曾我祐準君 私人松本君ノ説ハ同一委員ト云フコトヲ承テヌ様デシ  
タガ……

○松本鼎君 申シマシタ、  
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 松本君ハ同一委員ト云フコトヲ發議ニナリマ  
シタ、

○子爵曾我祐準君 然ラバ夫レニ贊成致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 尾崎君ハ村田君ノ説ニ贊成デスカ、

○尾崎三良君 日ノ極メ方ハ村田君ニ贊成シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 此案ハ政府ノ要求ニ依ッテ委員ニ付セザル筈  
ノデゴザリマス、併シ動議ガ出マシテ贊成ガアル以上ハ特別委員ニ付スルヤ  
否ヲ決シマセウ、……表決ニ付スル積リデアリマス、夫レカラ同一委員ニ付  
スルト云フ説ト期限ハ明後日マデト云フノト四日内ニト云フ説ト二ツゴザリ  
マス、順序ニ決テ採リマス、本案ヲ特別委員ニ付スルト云フ曾我子爵ノ説ニ  
贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザリマス、次ニ松本君ノ動議ニ係  
ル同一委員ニ付託スルト云フ説ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数ト認メマス、次ハ村田君ノ動議ニ係ル  
審査期限ヲ明後日中ト定ムルト云フ説ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數デゴザリマス、次ニ松本君ノ動議ニ係ル  
審査期限ヲ四日間トスルコトニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザリマス、依ッテ同一委員ニ付託  
シテ四日間ニ審査期限ハ定マリマシタ、次ニ(乙)豫定鐵道線路中私設鐵道會  
社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案第一讀會ヲ開キマス、朗讀致サセマス、

〔有賀書記官朗讀〕  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
右政府提出案本日本院ニ於テ可決セリ仍テ議院法第五十四條ニ依リ及送付  
候也

明治二十七年五月二十五日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

衆議院議長 楠 本 正 隆

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會  
社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一新潟縣下新津ヨリ福島縣下若松ヲ經テ白河本宮近傍ニ至ル鐵道

一兵庫縣下姫路ヨリ生野若クハ笹山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ園部ニ至ル  
鐵道若クハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線

中兵庫縣下生野ヨリ和田山ヲ經テ京都府下綾部ニ至ル鐵道  
一福岡縣下飯塚ヨリ原田ニ至ル鐵道

○政府委員(鈴木大亮君) 唯今朗讀ニナリマシタ法律案、私設鐵道敷設ノ  
願ガ出テ居リマスノデ、之ヲ許可スルニ當リマシテ鐵道敷設法ニ規定シテゴ  
ザリマスル通り帝國議會ノ協賛ヲ經マスル必要ガゴザリマス、別ニ詳シク理  
由ハ申上ダマセヌデゴザリマスガ……

〔子爵小笠原壽長君、ドウモ一向聽エマセヌカラ大聲ニ願ヒマス〕ト  
述ブ

速カニ御贊成アラムコトヲ希望致シマス、

○子爵平松時厚君 本案モ此前ノ曾我君ノ提出ニナリマシタルトキト同ジ  
コトデゴザリマスカラ同一委員ニ付託シテ且ツ期間ハ四日間ニ審査スルコト  
ニ致シタイト思ヒマス、

○子爵曾我祐準君 贊成、

○三浦安君 贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 平松君ノ動議ニ係ル之ヲ同一委員ニ付託シテ  
期間ハ四日間トスル動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 總半数デゴザリマス、次ニ(丙)豫定鐵道線路  
中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案第一讀會ヲ開キマス、

〔有賀書記官朗讀〕  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
右政府提出案本日本院ニ於テ可決セリ仍テ議院法第五十四條ニ依リ及送付  
候也

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

衆議院議長 楠 本 正 隆

明治二十七年五月二十五日

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一新瀧縣下直江津ヨリ新瀧及新發田ニ至ル鐵道

一京都府下京都ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道

一奈良縣下高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道線中五條ヨリ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道

一福井縣下敦賀ヨリ石川縣下金澤ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道線ヨリ分岐シテ石川縣下七尾ニ至ル鐵道

一東京府下上野ヨリ千葉縣下千葉佐倉ヲ經テ銚子ニ至ル鐵道線中千葉縣下佐倉ヨリ銚子ニ至ル鐵道

一茨城縣下水戸ヨリ福島縣下平ヲ經テ宮城縣下岩沼ニ至ル鐵道

一奈良縣下奈良ヨリ三重縣下上柘植ニ至ル鐵道

一兵庫縣下姫路ヨリ生野若クハ笹山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ園部ニ至ル鐵道若クハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線

一福島縣下福島近傍ヨリ山形縣下米澤及山形秋田縣下秋田青森縣下弘前ヲ經テ青森ニ至ル鐵道線ヨリ分岐シテ山形縣下酒田ニ至ル鐵道

○政府委員(鈴木大亮君) 此議案モ矢張り前申上ケマシタ通りノ次第デゴザリマス、成ルベク速ニ此協贊アラムコトヲ希望致シマス、

○子爵内藤政共君 政府委員ニチヨット質問致シタイコトガゴザリマス、此豫定鐵道線路中ノモノノ私設ヲ許スト云フコトニ付テ昨日政府委員ノ御辯明中私設ノモノニハ或ハ一やるとノ目方ト云フモノハ政府ノ方デハ六十ぱうんとデアアルガ私設鐵道ノ方ハ四十ぱうんと用ヒルモノモアリ或ハモット小サイモノヲ用ヒルト云フ御話デゴザリマシタガ、此線路ハ矢張り私設ヲ御許シニナリマスニハ政府ノ計畫ノ如ク六十斤ト同様ノモノデナケレバ御許シニナラヌ御積リデゴザリマスカ、

○政府委員(鈴木大亮君) 御答ヘテ申シマス、必シモ六十ぱうんとノレハ用ヒサセルト云フ譯デハアリマセヌ、官設ニ致シマスル分ハ勿論完全ヲ見込ミマス以上ハ目方ノ重イモノヲ用ヒマス、即チ六十ぱうんとノモノヲ用ヒマス、營業デゴザイマスルト必シモ完全ナコトバカリ望ム譯ニハ行キマセヌモノデゴザイマスカラ、矢張り四十ぱうんとノレハ用ヒマスルモアリマス、去ナガテ鐵道ノ安全ヲ保ツト云フコト丈ケハ監督上十分ニ注意致シマス、

○子爵内藤政共君 モウ一應御尋子致シマス、唯今ノ御辯明ニ依ルト都合

ニ依ッテハ六十ぱうんとデナイモノヲ許スト云フコトニ伺ヒマシタガ、軍用杯ニナリマスト云フト必ズ六十ぱうんとヨリ小イモノヲ用ヒルト云フコトニナッタラ非常ナ不便ガ起ルダラウト考ヘマスルガ其折ニハ又六十ぱうんとニ掛ケ更ヘサセルト云フ目的デアリマスカ如何デゴザイマス、

○政府委員(鈴木大亮君) ドウ云フ場合デゴザイマスカ、不便ノゴザイマスト云フハドノ邊ノ御心配デゴザイマスカ、別ニレハ輕イ、細イカラト申シテ不便ノ起ルト云フコトハゴザイマセヌ、唯保存上ニハ成ル丈ケ太イモノヲ使ッテ置キマスルガ宜シイノデゴザイマス、

○子爵内藤政共君 モウ一應伺ヒマス、ドウシテモ保存上ダケノタメニ太イモノヲ用ヒルト云フ様ナ御辯明デアリマシタ様ニ伺ヒマスガ、本員ノ考ヘマスル所デハ鐵道ハ必ズ六十ぱうんとノモノヲ用ヒルト四十ぱうんとノモノヲ用ヒルト或ハ二十ぱうんとノモノヲ用ヒルトハ運搬スル所ノモノノ重量ガ違フト考ヘマスカラ、夫レデ何ヒマス、

○男爵小澤武雄君 本案モ總テ前ノ案ト同様ニ同一ノ委員ニ付託ニナッテ矢張り四日間ノコトニ相成ル様ニ希望致シマス、

○子爵舟橋遂賢君 贊成致シマス、

○三浦安君 贊成致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小澤男爵ノ動議ニ係ル本案モ前ノ案ト同一委員ニ付託シ審査期限ヲ四日間ト定ムト云フ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、次ニ鐵道敷設法中改正法律案第一讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス、

〔有賀書記官朗讀〕

鐵道敷設法中改正法律案

右政府提出案本日本院ニ於テ可決セリ仍テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十七年五月二十五日

衆議院議長 楠 本 正 隆

貴族院議長 侯爵蜂須賀茂韶殿

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條第九項ノ次ニ左ノ二項ヲ追加ス

一中央豫定線ノ内長野縣下長野若ハ篠ノ井ヨリ松本ヲ經テ第一項ノ線路

ニ接續スル鐵道

一九州豫定線ノ内熊本縣下宇土ヨリ八代ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒島ニ至ル鐵道

○政府委員(鈴木大亮君) 唯今朗讀ニナリマシタ法律案ニ掲ゲテ置キマスル線路ハ敷設法ノ第二條即チ豫定線中ニゴザイマスル線路デゴザイマス、夫レチ此際第七條ノ一期線ノ中ニ線入レマスルタメニ此案ヲ提出致シマシタ譯デゴザイマス、矢張り前同様ニ成ルベク速ニ可決ニナリマスコトヲ希望致シマスル、

○子爵平松時厚君 此案モ同様矢張り期間ハ四日、同一委員ニ付託スルノ動議ヲ提出致シマス

○男爵本田親雄君 平松君ニ贊成、

○議長(侯爵須賀茂詔君) 平松子爵ノ動議ニ係リマスル前議案ト同一委員ニ付託シ審査期限ヲ四日間ト定ムルコトニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂詔君) 過半数デゴザイマス、次ニ(己)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案第一讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス、

〔有賀書記官朗讀〕

鐵道比較線路決定ニ關スル法律案

右政府提出案本日本院ニ於テ可決セリ仍テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十七年五月二十五日

衆議院議長 楠本正隆

貴族院議長 侯爵須賀茂詔殿

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條第十項ノ中央豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル

一長野縣下篠ノ井ヨリ松本ヲ經ル鐵道

○政府委員(鈴木大亮君) 此篠ノ井ヨリ松本ニ至リマスル鐵道ハ唯今委員付託ニナリマシタ鹿兒島縣ト一緒ニ掲ゲテゴザイマシタ線路デゴザイマス、是レハ比較線ヲ帶ビテ居リマスル線路デゴザイマス、此際ニ篠ノ井線ノ決定ヲ致ス必要ガゴザイマス、矢張り同様ニ速ニ可決ニナラムコトヲ希望致シマス、

○子爵伏原宣足君 此案モ同様シク此前ノ同一委員ニ付託シ四日間ヲ限ルト致シタウゴザイマス、

○男爵渡邊清君 伏原子爵ノ動議ニ贊成致シマス、

○議長(侯爵須賀茂詔君) 伏原子爵ノ動議ニ係リ前議案同一ノ委員ニ付託シ審査期限ヲ四日間トスル此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂詔君) 過半数デゴザイマス、

○子爵平松時厚君 此紙幣模造取締法案ノ第二讀會チ、日程ヲ變更サレテ、速ニ開カレムコトヲ希望致シマス、

○男爵西五辻文仲君 平松君ニ贊成、

○議長(侯爵須賀茂詔君) 是レハ紙幣模造取締法案ノ第二讀會ヲ直ニ開クト云フコトハ先刻動議ガ出テ少数デ潰レタノデゴザイマス、

○子爵平松時厚君 先刻ハ全ク此鐵道ノコトガアッタ故ニ潰レテ居ッタモノト考ヘマス、故ニ鐵道サヘ濟メバ此動議ハ又成立チマセウト考ヘマス、

○男爵小澤武雄君 唯今平松子爵ノ動議ハ事柄ニ於テハ格別惡ルイトモ思ヒマセヌケレドモ一旦少数デ否決ニナッタモノデアリマスカラ今日ドウモ今ノ動議ハ成立ツ譯ニハ行キマセヌ、前ニ否決ニナッタ動議ヲ再ビ提出ニナルコトハ出來マイト考ヘマス、

○男爵西五辻文仲君 先刻小笠原子爵ノハ直ニ開クト云フコトデゴザイマスケレドモ尾崎君カラデゴザイマシタカ鐵道ノ方チ先キニ議サウト云フタメニ否決ニナッタ様デゴザイマス、鐵道ノ方サヘ濟メバ續イテコチラノ方チ開ク云フコトチ平松君カラ言ハレマシタガ夫レニ贊成致シマス、別ニ差支ハアリマセヌト考ヘマス、

○安場保和君 本員デ考ヘマスレバ先刻小笠原子爵ノ動議ノ決ハ更ニ御探リニナラヌ様ニ思ヒマスガ如何デアリマスカ、

○議長(侯爵須賀茂詔君) 採リマシタ、

○尾崎三良君 今平松君ヨリ此紙幣模造ノ法案チ直ニ二讀會ヲ開クベシト云フ緊急動議ガ出マシタ、所ガ先キニ否決シタニ依ッテ或ハ最早今日ハ其說ハ提出ハ出來ヌカト云フ疑モアル様デゴザイマスガ別ニ議院法ナリ議院規則ナリニ何モノナイ以上ハ矢張り多數決デ御定メニナッタ方ガ宜カラウト思ヒマス、我々ハモウ鐵道ノ事ガ濟ンダ以上ハモウ直様第二讀會ヲ開カレテ宜カラウト思ヒマス、

○議長(侯爵須賀茂詔君) 平松子爵ノ動議ノ決ヲ採リマス、

○子爵曾我祐準君 先刻ハ議場ノ問題ニナラヌ様ナ御宣告デアリマシタガ問題ニナリマスヌノデスナ、

○議長(侯爵須賀茂詔君) 問題ニナラヌトハ申シマセヌ、唯一應潰レタト云フコトヲ申シタノデス、

○子爵曾我祐準君 御注意マデニ……

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 併シ動議トシテ出マシタ以上ハ一應決ヲ探ラナケレバナリマセヌ、

○子爵曾我祐準君 本員モ規則ニ於テハ、先刻鐵道ノ法案ト何レヲ先ニスベキヤト云フ問題デアリマシタカラ一度潰シテ二度目ニ出シテモ、規則ニ於テハ支ヘナイト思ヒマス、併ナガラ本員ハ新聞紙法案ヲ直ニ議セラレムコトヲ贊成スルモノデアリマス、

○男爵小松行正君 チョット伺ヒマスガ潰レタモノヲ又後トカラ動議ニ依ッテ成立ツト云フコトハ是レハ甚ダドウモ後來斯ウ云フコトガ例ニモナリマスカラ此法案ハ明日ニ御延バシニナツタ方ガ宜カラウト思ヒマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 夫レハ銘々ノ御考ヘ次第デゴザイマス、

○男爵小澤武雄君 再ビ動議ガ提出ニナリマシタニ附キマシテハ鐵道ガ何レカ先キカト云フコトノタメニ鐵道ガ濟ンダラ、モウ宜カラウト云フ説ガ出マスケレドモ、先刻小笠原君カラ發議ニナツタ時ニハ鐵道ヲ先ニスルカト云フ條件ガ附イテ居ラヌ、依ッテ斯ウ云フコトガ行ハレタラ今後之ガ例ヲナシテ一遍少數デ潰レテ一ノ議案ガ濟ンダナラバ又同一ノ事ヲ發スルト云フ慣例ヲ作ルデアラウト云フコトヲ恐レマスルカラ……

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 夫レハ御考ヘ次第デス、決ハ探ラ子バナリマセヌ、

○男爵小澤武雄君 併ナガラ一遍議長ニ申シテ置クノデアリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 夫レハ宜シウゴザイマス、

○三浦安君 左様ニ纏レマシタトキニハ動議ノ決ヲ探ルベキヤ否ヤノ先決問題チ……

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) イヤ夫レニハ及ビマセヌ、

○三浦安君 併シ、然ラズンバ不規則ノコトヲナス様ニナリマス、

○子爵曾我祐準君 御尋子シタイコトガアリマス、小澤男爵ハ前キノ小笠原子爵ノ動議ニハ別段ニ何モ條件ガ附イテ居ラヌト云フガ果シテ左様デゴザイマスカ、果シテ左様デアアルナラバ本員ハ小澤男爵ノ方ニ贊成ヲ致シマス、且ツ唯今ノハ議題トナルベキモノデアアルマイト思ヒマスカラ小澤男爵ニ贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 小笠原子爵ノ動議ハ直ニ二讀會ヲ開クト云フコトデゴザイマシタカラ矢張り其時分ニ動議ガ可決シタラ直ニ議ヲ開イタモノト思ヒマス、故ニ鐵道問題ノアツタメニ其方ハ成立タズ鐵道ノ方ガ成立ツタノデゴザイマスルカラ再ビ茲ニ出スト云フノデ動議ガ出タノデゴザイマス、

○男爵伊達宗敦君 小笠原子爵ノ動議ハ直ニ二讀會ヲ開クベシト云フノ

デ夫レガ否決サレタノデアアル、併ナガラ規則ニナイカラ又再ビ出セルト云フナラ譬ヘテ申サバ小笠原子爵ノ動議ガ否決サレタ後ト直ニ私ガ同ジ動議ヲ出シテモ宜イト云フコトニナリマス、左様ナコトニナツテハ……

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 夫レハ決シテ出來マセヌ、先刻ハ鐵道ノ案ガアツタカラ……

○子爵津輕承叙君 唯今提出者ハ其理由ヲ述ベラレタト思ヒマス、

○子爵板倉勝達君 是レハ議長ノ御考ヘノ通り決シテ苦シクナイト思ヒマス、先刻ノ動議ガ潰レテ其ノ間ニ鐵道ノ法案ガ終ッテ居ルカラソコニ間ガアル、直ニデハナイ、小笠原子爵ノハ直ニ直様ト云フコトデアッタト思ヒマスカラ是レハ決テ御探リニナツテ差支アルマイト思フ、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 決ヲ探リマス、平松子爵ノ紙幣模造取締法案ノ第二讀會ヲ直ニ開クト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數  
○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 少數デゴザイマス、新聞紙條例中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、

〔左ノ修正案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ此ニ載録ス原字ノ塗抹ニ係ルモノハ字傍ニ「」ヲ附シ其修正ハ「」ヲ附シ新ニ増加シタル文字ニハ「」ヲ附ス〕

明治二十年勅令第七十五號新聞紙條例第十九條ヲ削除シ第二十條ヲ左ノ通改正スニ左ノ一項ヲ加フ

第二十條 治安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノハ新聞紙ハ内務大臣ニ於テ其發賣頒布ヲ禁シ之ヲ差押フルコトヲ得

〔停止ハ其事項ヲ指示シ日刊新聞紙ニ在テハ一週日以内其他ニ在テハ三回以内トシ豫メ其日數又ハ回数ヲ定ムヘシ〕

〔清浦奎吾君演壇ニ登ル〕

○清浦奎吾君 委員長黒田侯爵差支ヘニ附キマシテ本員代リマシテ委員會ノ經過並ニ其結果ヲ御報道ニ及ビマスデゴザイマス、本案ノ審査ハ至急ヲ要シマスルタメニ二日間ト期限ヲ定メラレタノデゴザイマス、依ッテ昨日委員會ヲ開イテ審議ノ末四名ニ對スル五名ノ多數ヲ以テ修正案ノ通り可決セラレマシテゴザイマス、本條改正ニ附キマシテハ第三第四議會ニ於テ十分贊成反對ノ辯論ヲ盡シマシテゴザイマスルカラ委員會ニ於テ格別ノ議論モゴザイマセヌ、去ナガラ茲ニ其要略ヲ陳述致シマス、衆議院送付ノ法案ヲ贊成スル論旨ハ發行停止處分ハ言論ノ自由ヲ束縛シ道理ニ適セナイ、憲法ノ精神ト相副

ハザル所ノモノデア、果シテ安寧秩序ヲ妨害シ風俗ヲ壞亂スル新聞紙ガアツタナラバ之ヲ世間ニ散布スルコトヲ防グタメニハ敏活ニ差押處分ヲナセバ足レリ、且ツ政體ヲ變壞シ朝憲ヲ紊亂スルモノニハ此條例中第三十二條ニ制裁ガ設ケラレテ居ル、又風俗ヲ害スルモノニ附キテハ第三十三條ノ制裁モアル、左スレバ發行停止ナル生マ殺シ手段ノコトハ要サナイ、此兩項ガアレバ一ツノ事柄ニ付テ物ニ依ッテハ行政罰ト刑法罰ト二重ニ處分セラル、コトガアル、殊ニ近來當局者ガ停止處分ヲ行フ所ヲ見ルニ頗ル其當ヲ失シ往々偏頗ニ流ル、處置モアルト見認メラル、デ本條ガ治安維持ノ用ニ供セラレズ、却ッテ政府安保護ノ痕ヲ見認メラル、依ッテ道理上ニ於テモ又實際上ニ於テモ斷ジテ之ヲ廢スルハ當然ノコトデア、即チ衆議院送付ノ法案ヲ贊成スルノ論旨デゴザイマス、又修正論者ノ説ニ於キマシテハ修正案ハ第四議會ニ於テ貴族院ノ可決ヲ經タモノデア、故ニ其可決ノ精神ヲ重シ決議ノ精神ヲ激變セシムル様ナコトハナイ方宜シ、殊ニ其後ニ於ケル新聞紙ノ有様ニ徴スルニ發行停止ヲ全廢スル程ノ場合ニハ至ラヌ、故ニ言論ノ自由ニ幾分ノ制限ヲ設ケルハ今日ノ人文ノ程度ニ應ジテ已ムヲ得ナイコトデア、由ニ幾分ノ制當局者ノ停止處分ニ附イテハ其當ヲ得ナイコトモアル、去ナガラウ、成ル程當局者ノ停止處分ニ附イテハ其當ヲ得ナイコトモアル、去ナガラウ眞ニ治安ヲ妨害シ風俗ヲ壞亂スルモノガアルトスレバ全ク之ヲ廢除スルト云フノハ國家ノ安寧秩序ヲ擧ゲテ言論自由ノ犠牲ニ供スルト云フ譯デアラウ、治安ヲ妨害スルモノガアルトスレバ之ヲ差押ヘレバ足ルトハ議論ニ於テハ立派デア、カナルドモ實際ハ業已ニ散布シタル後トチ追ッ掛ケル次第デア、ツテ見レバ所謂後トノ祭デ其效能ト云フモノハ更ニナイ、デ修正案ノ通り發行停止ノ事項ヲ指示スルトニスレバ行政官ノ濫用ヲ防グノ備ヘハ十分デア、又是レマデノ様ニ無制限ノ停止ハ新聞社ニ取ッテ頗ル困難デア、カナルドモ一週間ヲ限ッテ最長期トシテ其範圍内ニ於テ前以テ三日間若クハ四日間ト云フ停止ノ期限ヲ豫定セシムルト云フコトニスレバ是レマデノ制度ニ比スレバ頗ル寛大デア、故ニ此位ノ所ガ今日ノ度合デア、ラウト云フ説ヲ以テ修正案ガ成立致シマシテゴザイマス、尙ホ委員長ニ於テ申シ洩シマシタコトハ他ノ委員諸君ノ御説モゴザイマセウシ、又實際ノコトニ附イテハ政府委員ノ陳述モアラウト考ヘマスデゴザイマス、デ委員長トシテノ報道ハ茲ニ之ヲ結ビマスデゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 最早正午ニ近ウゴザイマスニ依ッテ一應休憩ヲ致シマス、  
午前十一時五十五分休憩  
午後一時十七分開議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 午前引續キノ會議ヲ開キマス、  
〔村上桂策君發言ノ許可ヲ求ム〕  
村上君ハ御發議デゴザイマス、カ、  
〔村上桂策君「イエ、質問デゴザイマス」ト述ブ〕

○村上桂策君 午前清浦君カラ御報告ニナリマシタ其點ニ附キマシテ聊カ疑ガアリマス、清浦君ノ御報告ノ本案ヲ贊成スル者又修正スル者ノ此二ツノ理由ヲ擧ゲテ御報道ニナリマシタ、併シ原案ヲ贊成スル者ハ無論發行停止ハ偏頗ナルコトデア、アルカラ夫レデ原案ヲ贊成スル譯デゴザイマス、又原案ヲ贊成シナイ修正スルト云フ委員諸君ニ於テモ偏頗ナルコト即チ濫用ヲスルコトハ宜シクナイト云フ斯ウ云フコトデア、委員諸君ニ於テモ濫用ヲスルト云フコトハ聊カ御異論モ無ク濫用シタニ相違ナイト御認メニナッタト云フコトハ清浦君カラ御報道ニナリマシタ、其全會一致デ濫用ヲシタト御認メニナリマシタ其事柄ハドウ云フ事柄ヲ濫用ト御認メニナリマシタカ、濫用ト云フコトヲ認メタノハ濫用ヲシタカラ委員會ニ於テ御認メニナッタニ相違ナイ話デ、其濫用ヲシタ事柄ヲ贊成シナイ修正ヲシタ諸君カラ一應承リタイ、次ニ政府委員ニ質問致シタウゴザイマス、此伊藤伯爵ガ總理ニナッテ來今日マデ諸新聞中ニ一番發行停止ヲ命ゼラレマシタ其新聞ノ發行停止ヲ命ゼラレタ……伊藤總理ガ今日マデノコトチ是レハ斯ク斯クノ次第デ治安ヲ妨害ナリ風俗ヲ壞亂シタト云ッテ是レハ停止ヲ命ジタコトデア、アルト云フ其一新聞ノ一番多ク停止ヲ命ゼラレタコトニ付テ今日マデノ事柄ヲ明瞭ニ政府委員ニ承リタイ、

○清浦奎吾君 村上桂策君ニ答ヘマス、委員ニ於テ政府ノ發行停止ノ處分ニ付テ往々公平ヲ失シ偏頗ニ涉ルコトガアルト認メタ其認メ方如何ト云フコトデア、ゴザイマスガ、是レハ皆各自ニ於テサウ云フコトガアルト云フコトチ認メテ言ハレタ話デゴザイマス、カ、ドレガ偏頗ニ涉ッテ居ル、ドレガ公平ヲ失シテ居ルト云フコトハ是レハ議場ニ於テ明言ハシマセヌ、  
○村上桂策君 モウ一應清浦君ニ質問致シマス、清浦君ニ於テ偏頗ナルコトガアルト云フ御認メガアッタノデアリマス、更ニ偏頗ナルコトハ無イト云フ御考ヘデ委員席ニ於テ御意見ヲ御述ベニナッタノデアリマス、カ、私ハ先刻アルト云フ御斷言ヲ承ッテ居リマス、然ルニ唯アルト云フ位ナコトデア、アルカラト云ッテハ私ハ委員トシテ取調ベタト云フ點ニ至ッテハ甚ダ不親切ナコトデア、アルマイカ、唯アル位ナ想像デア、不都合デア、アルダラウ位ノ想像デ御決シナサレタノハ私ハ不都合ト思ヒマス、此點ハ不都合デア、アルト云フコトデア、御調ベニナッタラウト思ヒマスガ、委員ハ十分ノ調査ヲシナクテハナルマイト考ヘマスガ、サウ云フコトヲ御尋子致シマス、

○清浦奎吾君 本員ニ於テハ平素各種ノ新聞ヲ見テ居リマス、其各種ノ新聞ヲ見テ居ル中ニ就テ政府ノ發行停止ノ處分ヲシタモノノ中デ偏頗ニ涉ルモノガアルト斯ウ認メルト云フノデアリマスカラ、ドレヲ認メル是レヲ認メルト云フノデアリマス、

〔子爵舟橋遂賢君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 御質問デスカ、

○子爵舟橋遂賢君

ハ、本員モ發議者ニ對シテ質問致シタイ、此修正ノ最初ニ「停止ハ其事項ヲ指示シ」トアル「其」ト云フ字ハ何ヲ指スカ、夫レガ何ヒタイ、

○清浦奎吾君 「停止ハ其事項ヲ指示シ」ト申ス此「其」ト申スノハ發行停止ヲ要スル所ノ其事項ヲ指スノデ、

○子爵舟橋遂賢君 サウスルト「其」ト云フ文字ハ停止ヲ指シテ居ナイノデ、「其」ト云フ字デ承ケテ居ル文字ハ……

○清浦奎吾君 停止スベキト云フ所ヲ指スノデ、

○子爵舟橋遂賢君 「停止スベキ」ト云フコトハアリマセヌ、此中ニナイモノヲ「其」ト云フ字デ承ケルトハ……

○清浦奎吾君 夫レデ御分リニナラチバ仕方無イ、即チ「停止ハ其事項ヲ指示シ」トアレバ停止ヲ要スル事項ト云フコトハ分ッテ居ル、夫レデ御分

リニナラヌケレバ夫レヨリ以上ハ辯明ハ出來マセヌ、

○子爵舟橋遂賢君 尙ホ精神ノアル所ヲ十分ニ承ッテ置キタイ、唯文章ガ惡ルイカラ夫レヲ言フノハ無イガ、ドウシテモ此文言デ見レバ、「其」ト云フ字ハ「停止」ヲ承ケタトホカ見ラレナイ、停止ト云フモノハ處分デアルカラ

停止ノ事項ト云フモノハアルベキモノデ無イ、「停止ハ其事項ヲ指示ス」トアリマスルト停止ハ即チ發行ヲ停止スルノデアルカラ其發行其物ニ事項ノアル

ベキモノデアアルマイト思フ、立派ナ法律家先生ガ寄ッテ居ラル、委員會ノ修正デアリマスカラ是レ位ノコトハ御心付キデアラウト思ヒマスカラ其點ヲ

確メテ置キタイカラ何ヒマス、サウスルト唯今ノ清浦君ノ語氣カラ考ヘテ見ルト「其事項」ト云ヘバ第十九條ニ依ッテ治安ヲ妨害シ又風俗ヲ壞亂スルト認

メルト云フコトハ何ノ論文ノ何ノ項ガ風俗壞亂或ハ治安妨害ト認メルト云フ新聞中ノ事項デアッテ「其」ト云フノハ新聞ノ事項ノ何ヲ指スカ、察スル所ニ

依レバ新聞中ノ記事ノ事項ト云フ事柄ヲ云フデアラウト思ヒマスガ其意味デアリマスカ、一應確メテ置キマス、

○清浦奎吾君 新聞紙ノ記事中何ニ依ッテ發行停止ヲスルカ其停止スベキ

事項、停止ヲ要スル事項ヲ指示スト云フコトデ……

○子爵舟橋遂賢君 大變ムツカシイ「其」ト云フ字デス子、夫レニ附イテ尙

ホ何ッテ置キタイノハ偏頗ニナルノヲ恐レルカラ是レ丈ケノ豫防ヲ付ケテ、詰マリ停止ハ治安妨害ヨリハ寧ロ内閣安妨害ノ處置ヲ施スコトガアル、斯ノ如キコトハ將來ニ於テ行レナイタメニ即チ夫レ丈ケノ豫防ヲスルタメニ「事項ヲ指示シ」ト云フコトヲ極メタト云フ様ナ御論據ノ様ニ承リマシタガ、サウシマスルト事項ヲ指示スルト云フト指示サレタ人即チ新聞社ハ斯ノ如キ事項ハ治安妨害トカ或ハ風俗壞亂トカ認メルト云フ事項ノ趣旨デハナカッタガ、併シ夫レハサウ云フ意味ヲ以テ書イタモノデナイト云フ丈ケノ辯明ハ出來得ラル、譯デアリマスカ、出來得ラレナイノデアリマスカ、出來得ラレヌナラバ幾ラカ偏頗ナ處置ガアルカモ知レナイ、出來ナイモノトシテ見レバ事項ヲ指示スルニ附イテ一方ハ指示スルニ止マリ一方ハ聞流シニ止マル、夫レガ將來ニ向ッテ偏頗ナ處分ヲスルコトヲ止メ得ベキ丈ケノ防禦手段トシテ効カガアルモノト委員ニ於テ御認メデアリマシタカ、其邊チ一應確メテ置キマス、

○清浦奎吾君

舟橋君ニ御答ヘテ致シマス、新聞社ノ方カラシテ斯ウ云フ事柄ニ依ッテ停止セラレタノハ間違デアルト云フコトハ行政處分デ無ケレバ

言ヘマイト思フ、併ナガラ停止ハ其事項ヲ指示スルト云フコトデアッテ見レ

バ凡ソ停止スベキ價ノアルモノデ無ケレバ濫ニ發行停止ヲスルト云フコトハ

出來ナイ、若シ政府ガ自己ノ利益ノタメニ停止スベキ價ノナイモノニマデ向

ッテモ停止スルト云ヘバ即チ警察權ノ濫用デアル、若シ政府ガ左様ナ濫用ヲ

シタラバ是レハ政治上ノ問題トシテ帝國議會杯デ大ニ論ズルコトモアリ得ラ

ル、話デアラウト思フ、別ニ斯ウ書イテ置タカラト云ウテ新聞社カラシテ之

ニ付テ冤ヤ角言フベキデナイト云フコトハ固ヨリコトデアアル、去ナガラ効

能ノナイト云フコトハ決シテナイ、如何トナレバ唯今ノ發行停止ハ單ニ行政

官ノ頭一ツデ認メルノ理由モアリハシナイガ、新聞ノ發行停止ニ附イ

テ其停止ノ事柄ヲ指示スト云フコトデアッテ見レバ濫ニ出來ナイト云フハ明

ナコトデアアル、左スレバ又時期ニ制限ヲ附ケレバ是レマデノ發行停止ノ無制

限ニ比スレバ其宜シキヲ得ルト云フコトハ滿場ノ認メル所デアラウト思ヒマ

ス、

○子爵舟橋遂賢君

唯今現行ノ發行停止處分ハ行政官ノ頭一ツデ命ズル、理由モ何モナイト申サレタ様ニ聞キマシタガ、理由モナク行政官ノ頭一ツデ

處分スルト明言サレタデアリマセウ、其點チ一應確メテ置キマス、理由ナク

シテ唯今ハ發行停止ヲ處分スルト云フコトデアリマスカ、

○清浦奎吾君 舟橋君ハ條例ノ十九條ヲ御覽ニナッタラ御分リダラウト思

ヒマスカラ……

○子爵舟橋遂賢君

アナタガ言ッタカラアナタノ言葉チ……

○清浦奎吾君 此處デ本文ヲ讀ミマセウ、「治安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムル新聞紙ハ内務大臣ニ於テ其發行ヲ禁止シ若クハ停止スルコトヲ得」トアリマスカラ、即チ内務大臣ノ認メニ任セテアルカラ……固ヨリ内務大臣ノ方デハ其理由ノ認メハアルノデアリマセウ、

○子爵舟橋遜賢君 サウスリヤ理由ガアルノデスナ、何ニモ無イトハ言ハレマセヌナア、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) マダ質問ガアルノデスカ、

○子爵舟橋遜賢君 私ノ伺ッタノト答辯ト少シコトガ間違ッテ居ル様デアリマス、夫レデハ指示スルニ附イテ、事項ヲ指示スルト云フコトガ出來レバ十分ノ豫防ガ出來得ラル、點ヲ擧ゲテ貫ヒタイ、條項ノ講釋位ハ承ランデモ宜シウゴザイマスガ、修正ニナッタ理由中斯ノ如ク事項ヲ指示スルニナレバ十分將來ニ偏頗ノ處分ガ出來ナイ、其豫防ガ出來得ラル、カ、其點ヲ確メテ置キタイ、

○清浦奎吾君 幾度デモ御答ヘ申シマスガ唯今ノデゴザイマスレバ治安ヲ妨害スルト認メル、治安ヲ妨害スルト認メルト云フノハ内務大臣ノ頭ノ中ノ話デアアルガ、今度ノ停止ハ其事項ヲ指示スルト云ヘバ其認メタ所ナ、此點デヤッタト云フ事柄ヲ示サナケレバナラヌ、其事柄ヲ示スニナレバ果シテ此停止シタル事柄ガ停止スベキ程ノ價值ガアルモノナルヤ、相當ノモノナルヤ、不相當ノモノナルヤハ輿論デ認定シマスカラ、是レガアレバ濫リナコトハ出來ナイト云フノデアリマス、是レガ不十分ト云フコトデアレハ即チ舟橋子爵ノ御修正説デモ御出シニナレバ宜カラウト思ヒマス、

○子爵舟橋遜賢君 御言葉ガナクテモ修正説ヲ出シタケレバ出シマスガ十分御答辯ガ出來マセヌケレバ、モウ本員ハヨシマセウ、

〔侯爵黒田長成君演壇ニ登ル〕  
○侯爵黒田長成君 本員ハ此法案ノ特別委員ノ一人デゴザイマスガ少數意見ヲ玆ニ代表シテ一言御報告ヲ致サウト考ヘマスル、此新聞紙ノ發行禁止停止ト云フコトハ治安妨害又ハ風俗壞亂ノ豫防デアアルト云フコトデアリマスガ、實際此豫防ヲ完全ニスルニハ又方法ガ存シテ居リマスルノデ、即チ其新聞ノ發賣頒布ヲ禁ズルコトノ出來ル方法ヲ執リマスレバ其精神ヲ達スルコトガ出來ルコトデアラウト考ヘマス、左スレバ或ル一ノ事項ガ其處分ヲ受クベキコトデアアルトシマシテモ夫レガ屢々新聞紙ニ掲載サル、コトデアアルヤ否ヤト云フコトノ分ラヌノニ夫レヲ單ニ行政官ノ認定ニ依ッテ停止スルト云フコトハドウシテモ豫防ト云フコトニハナランデ懲罰的ノ處置ニ傾イテ居ルト言ハ子バナラヌ、斯ク申シマシタナラバ此新聞ノ發行禁止ナリ停止ナリ今日全廢シテハ一時ニ激變ヲ來シテ却ッテ社會ノ秩序ヲ紛亂スル様ニナラウト云フ論

モアリマスルガ、又一方カラ考ヘマスト段々此社會ト云フモノハ進歩シテ參ルノデアアツテ、社會ニ於テハ醜惡ナ事實ハ新聞紙上杯ニ掲載スルコトヲ忌ミモ致シ又新聞記者ニ於テモ其邊ハ段々注意致ス様ナ傾向デアリマスルカラ、決シテ其點ニ附イテハ心配ハアルマイカト考ヘマス、且又此新聞紙條例ノ中ニナリ又刑法ノ中ニモ夫々處罰スベキ所ノ規定ガ設ケテアリマスカラ夫レデ十分此取締ハ著カウト考ヘルノデ、夫レデ却ッテ斯ノ如キ法律ヲ存シテ置キマシタナラバ夫レガタメニ種々ナル弊害ヲ惹起シテ來マスカラシテ之ヲ今日全廢シマシタナラバ却ッテ其新聞記者ノ自重ノ心ヲ惹起シテ愈々注意ナスル様ニナラウト考ヘル、是レハ我々少數者ノ意見デゴザイマスカラ簡單ニ其趣意ノ所ヲ述ベテ置キマス、

〔三浦安君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 通告ガアルノデアリマスガ三浦君ハ御贊成デゴザイマスカ御反對デゴザイマスカ、

○三浦安君 私ハ其委員ノ方ノ多數説デゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザイマス、

〔三浦安君演壇ニ登ル〕

○三浦安君 本員ハ此新聞條例ノ改正ニ附キマシテハ第四議會ノ時衆議院ヨリ此事ヲ提出ニナリマシテ、是レハ新聞條例一般ニ涉ッテノ修正等ガアリマシテ、即チ主タル所ハ此第十八條デアリマシタ、其節本員等ハ委員ニ當リマシテ即チ委員ノ調査上他ノ事ハ條數ニ涉ッテ居リマスカラ一々申スコトモアリマセヌガ此第十八條ニ對シマシテ、之ヲ即チ今日提出ノ如キ修正案ガ委員會ニ於テ出來マシタノデアリマス、然ルニ其節ノ委員ノ中デ近衛公爵、松平子爵、長谷川直則君並ニ本員ハ少數説ヲ以テ第十八條ヲ削除スルガ宜シイト云フ説ヲ提出致シマシタ、即チ提出致シテ置キマシテ議場ニ於キマシテモ十分ニ其事ヲ論辯致シマシテ第十八條ハ削除シテ今日ノ停止ノコトハアルマジキ筈ト云フコトヲ存分ニ論ジマシタ、即チ其節加藤君ノ憲法ヲ眞直グニ説クト云フ其説ニ對シマシテマデ十分ニ反駁ナシマシタ位デアリマス、第十八條ヲ削除スルニ附イテハ十分ノ説ヲ維持シテ居ル本員デゴザイマス、

〔十九條デハゴザイマセヌカト述ブル者アリ〕

十八條ト申シタノハ間違ヒマシタ、即チ停止ノアル條デゴザイマス、然ラバ當年モ……今回モ即チ衆議院ノ提出ヲ贊成スベキ筈デゴザイマス、然ルニ何ヲ以テ此修正説ニ贊成ヲ致シタト申スニ是レハ時期ニ依ッテ考ヘマシタモノデ、何チ時期カト申シマスニ……

〔東京府知事ニナッタカラスカト述ブル者アリ〕

決シテサウデハゴザイマセヌ、第四議會ノ時ノ議場ノ可否ノ總數ガ我々ノ削

除説ヲ可トスル者ハ四十八デゴザイマシテ修正説ヲ可トスル者ハ十一デ大層ナ違ヒデゴザイマス、敢テ時勢ニ依ッテ進退スルト云フ譯デハゴザイマセヌガ當年ノ案ヲ此儘賛成ヲ致シテ議場ニ提出ニナリマスレバ則チ廢案ト賛成トノ争ニナリマス、此時ノ勢デ考ヘマスルトハ廢案ニナルヲ憂ヘマスル、廢案ニナレバ貴族院ノ説ガ第四議會ノ時ヨリ今日ハ退歩シタニナリマス、然シマスレバ第四議會ニ於テ多數ヲ以テ修正ニナリマシタコトガ責テハ委員會ニ成立ッテ議場ニ持出シテ置クノハ即チ廢案説ヲ防グノ一端ト存ジマス、夫レニ依ッテ理由ト云フモノハ別ニ何モゴザイマセヌ、理由ヲ言ヘバ矢張り前説ヲ維持シテ到底是レハ廢案スベキモノト思ヒマスガ、如何セム議場ノ有様ガ斯ノ如クデアッテ廢案ニ歸シマスレバ退歩致シマスルカラ、願ハクハ退歩ヲセヌ様ニ一步デモ進ンデ今日ノ様ヨリハ制限ヲ附ケ日數モ縮メ其事項ヲ指示スルト云フ方ニ賛成ナシタ所以デアリマス、是レヨリ外ニハ何モ意思ハゴザイマセヌ、到底是レハ廢案スベキハ分ツタコトデアリマス、一步ヲ折ッテ遣ランデハ今回ハ通ルマイルト思ヒマスルカ貫徹スルタメニ一步退イタト云フモノハサウ云フ即チ第四議會ニ於キマシテ鳥尾君ガ至極宜イト云ッテ此説ヲ維持サレタノデアリマス、當年モ同ジ委員ニナッテ居リマスル即チ鳥尾君ニ於テモ少數説ニ賛成セラレテ居ルガ是レモ一種ノ説デゴザイマセウ、デ夫レ故ニ理由ニ於テモ別ニ申スベキコトハアリマセヌガ唯一歩折ッテ此事ノ貫徹スルタメニ貴族院ノ説ガ廢案説ニ退歩ニナラヌ様ニト云フ丈ケノ精神ト御覽下サレバ宜シイ、間違ハゴザイマセヌ、

〔子爵曾我祐準君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 暫ク御待チ下サイ通告ガゴザイマス、

○子爵曾我祐準君 三浦君、三浦君ニ御忠告ガアリマス、古ヨリ幽谷ヲ出デテ喬木ニ遷ルト云フコトヲ聞イタガ君ハ喬木ヲ下ッテ幽谷ニ入ラムトスル、我々政友トシテ相共ニシタ三浦君、願ハクハ此席デ斷然本案ニ賛成ヲ表セラレムコトヲ希望スルノデアアル、

○安場保和君 唯今ノ變説ノ理由ハ明ニ御辯ジニナリマシタカラ私モ始メテ分リマシタガ、少シ是レハ議場外ノ様ナコトヲ申ス様デアリマスケレドモ、多クノ賛否ニ關係ナシマスルカラ一ト通り此公席ニ於テ御論ヲ承ッテ置キタイト存ジマス、其次第ハ此議案ハ實ニ重要ナル議案デ、隨分此賛否ニ於テハ得失ノ上ニ於テ世上ノ問題モ置々トシテ居リマスシ、又我々ノ腦髓ニ問ウテモ其得失ノ間ヲ取捨スルト云フコトハ僅カ單簡ナ案デアリマスケレドモ其關ル所ハ實ニ治亂興敗ノ關係ニモ至ラウト云フコトハ決シテ過言デナイト存ジマスカラ、夫レニ我輩ノ先哲ト心得テ相談ヲ致ス向ヘハ段々講究ヲ致シマシタ、其一ツトスルハ既ニ三浦君ニ此事ノ御定説ハ如何デアアルカト云フ

コトヲ伺ヒマシタ所ガ、自分ハモウ前年以來ト言ハレタ様ニ思ヒマシタガ、唯今承ッテ見レバ第四期議會ノ事ト考ヘマスルガ、其以來確乎トシテ修正説ノ様ナ説ヲ維持シテ居ルト言ハレマシタガ、誠ニ數年貫イテ國家ヲ重ンゼラル、御精神ニハ敬服シテ確乎トシテ居リマス、所ガ唯今議場デ承レバ前年トハ大ニ御説ガ變ツタト云フ理由ヲ簡單ニ述ベラレテ實ニ驚入ッタコトデ是レハ誠ニ國家ノタメニハ賀スル、賀スルト云フノハ決シテ頑固ナル説ヲ主張セズシテ大ニ開明ニ進メタニハ感ジマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 御質問デゴザイマスルカ、

○安場保和君 確メテ置ク質問デアリマス、夫レデドウカ御變説ニナッタカラ質問致シマス、ソコデ幸ヒ國家ノタメニハ賀スルモノノ能ク考ヘテ見レバドウモ一體ニ此議員ト云フ者ハ成ル程昨日善シト考ヘテモ今日ハ否ト考ヘルコトハ世ノ中ノ進歩ニ依ッテアルベキコトデアリマシタコトハハナイケレドモ、其事柄ハ時ニ取ッテ時弊ヲ救フト云フコトハ要用ナル點ト認メラレテ御説ヲ御進歩ニナッタト思ヘバ其處ニハ決シテ異論ハナイノミナラズ、唯今申ス通り大ニ國家ノタメニハ賀スル、併シ唯今簡單ニ御説キニナッタノハ是レヨリモ此レガ宜イカラ先ヅ此説ニ同意スルト云フハ何分合點ガイカヌカラ一應平ツタク分ルヤウ御辯明ヲ願ヒマス、

○三浦安君 曾我君ノ御忠告ハ御尤ニ承知致シマスガ是レハ御忠告トシテ承リ置キマス、又安場君ノ御尋子ハ先刻辯明ナシタ積リデアリマス、即チ本員ノ意思ハ是レハ到底廢除スベキコトハ變リマセヌガ、貴族院ノ都合ヲ顧ミ廢案説ニナラヌ様ニ當年モ第四議會ノ如ク修正案ガ出テ居リマスレバ決シテ廢案ニナルト云フコトハナイト云フ所カラシテ一步ヲ退イテ修正案ニ同意ヲ表シテ置キマシタノデアリマス、夫レ丈ケデ御分リニナラウト存ジマス、

○男爵伊達宗敦君 私モ三浦君ニ伺ヒタウゴザイマス、全體ニ於キマシテハ昨年ノ通りノ御説ナデアリマス、昨年ノ通り發行停止ヲ廢スル、併ナガラ通過ノタメニ精神ハ枉ゲテ……御考ヘナ枉ゲテサウシテ委員ノ修正ニ御同意ニナッタト云フ、併ナガラ若シ此議場ノ有様ガ一票ノ差ガアッテ三浦君ガ御持チニナッテ居ル所ノ説ガ助手發行停止ヲ廢スルト云フ方ガ一票デ多イト云フコトデアアッタ固ヨリ掛引上ノ事デアリマスカラ三浦君ハドツチニナサル御考ヘデアリマスカ如何デゴザイマス、

○三浦安君 夫レハ御尋子デゴザイマスガ別ニ御答ヘハ致シマセヌ、

○安藤則命君 私モ御尋子ヲ致シタイ、唯今ノ御言葉ハ甚ダ私ハ奇怪ニ堪ヘマセヌガ如何ニモ奇怪千萬、有名ナル三浦君ニ似合ハザル御言葉ト私ハ信ジマス、併ナガラ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 御質問デゴザイマスカ、

○安藤則命君 質問デアリマス、併ナガラ表裏反覆即チ裏切りサレタハ必ズ深キ理由アルコトト信ジテ疑ヒマセヌ、願ハクハ其點チ今一應御手数ナガラ御辯明ヲ希望致シマス、

○三浦安君 固ヨリ前説チ一步退キマシタ以上ハ縦令一時タリトモ諸君ニ反覆或ハ表裏ト云フコトハ免レヌコトト承知シテ居リマス、深キ理由ハ先刻申シマシタ通り若シ賛成ト廢案トチ争フ場合ニナレバ一步チ退イタモノニナリマスルガ夫レデモ進ンダ方ガ宜イト思ヒマスカラ枉ゲテ賛成ヲ致シタ主意ナノデアリマス、左様御承知ナ願ヒマス、

○山川浩君 三浦君ニ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 山川君ハ質問デスカ、

○山川浩君 左様質問ノ中ニ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 質問デナケレバイケマセヌ、

○山川浩君 ソンナラ質問ヲ致シマス、三浦君ハ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 質問デナケレバイケマセヌ、通告ガアリマスカラ……

○山川浩君 質問ヲ致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 質問ナラ宜シイ、

○山川浩君 三浦君ニ質問致シマスガ、段々三浦君ノ御説チ承リマスレバ固ヨリシテ此十九條ヲ廢スルト云フ精神デアル、併ナガラ到底貴族院ニ於テ其説ハ行ハレマイ、依ッテハ残念ナガラ前説チ翻シテ修正説チ主張スル、サウシテ貴族院ヲ通サウト云フ御考ヘノ様ニ承リマシタガ、夫レニ附キマシテハ如何ナモノデアリマスカ、此次先ヅ十九條ヲ廢スルト云フコトニ先ヅ一ツサウナッテ夫レガ協ハナカッタラ其次ニナサレタラ如何ナモノデゴザイマスカ、

○三浦安君 山川君ニ御答ヘチ致シマスルガ夫レデハ委員會ノ説ガ成立タヌト思ヒマスカラ委員會ノ修正説ヲ賛成致シマシタ、

〔子爵曾我祐準君「委員會ノ場合デアリマセヌ」ト述ブ〕

〔村上桂策君「議長」ト呼ブ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 村上君ハドウ云フ質問デアリマスカ、  
○村上桂策君 先刻政府委員ニ質問ヲ致シテ置キマシタガ願ハクハ御答辯ヲ促シマス、

〔政府委員末松謙澄君演壇ニ登ル〕

○政府委員(末松謙澄君) 先刻村上君カラノ御尋子ガゴザイマシタ、其後議員諸君ノ御討論モアリ、既ニ議事ガ始ッタコトデアリマスカラ宜シイト存

ジマシタガ尙ホ御催促デアリマスカラ一言申シマスガ、先刻ノ御尋子ノ要領ハ伊藤伯爵ガ總理大臣ニナッテ以來幾ツ新聞チ止メタカ、又下ノ新聞ガ幾度止メラレマシタカ、其事柄ハ何デアアルカト云フ御尋子ノ様デゴザイマシタガ……

○村上桂策君 少シ違ヒマス、私ノ質問致シマシタノハ伊藤伯爵ガ總理ニナッテ以來今日マデ諸新聞ノ内デ發行停止ノ一新聞ノ一番多イノハ伯爵ガ總理ニナッテ以來今日一新聞ダケノ是レガ治安ヲ妨害シタカラシテ停止シタ禁止シタ、是レガ風俗ヲ壞亂シタカラト云フ其事柄チ承リタイ、願ハクハ諸新聞ト思フガ夫レハ當議場デ一々ト云フ譯ニハイカヌカラシテ一新聞ダケノ、總理以來今日マデノチ承リタイト云フデアリマス、分リマシタカ、

○政府委員(末松謙澄君) 分リマシタ、右ニ附イテ御答ヘチ致シマス、斯ノ如キ御質問ハ寧ロ委員會ニ於テ委シク御調ベニナルベキ事柄デアラウト考ヘル、其故ハサウ云フ様ナル材料ヤ何ヤラ集メルタメニ實ハ委員會モ御開キニナルコトト考ヘマス、政府委員ニ於キマシテモ一々ドノ新聞ハドウ云フコトデ停メラレマシタト云フ其時分ノコトチ御尋子ニナッテ所ガ一々携ヘテ來テ居ルモノデモゴザイマセヌ、サウ云フ様ナルコトニナレバ或ハ豫メ御通知ヲ下スツテ斯ウ云フ質問モ出スカラ何クナ山ノ如ク出スカラト云フコトナレバ携ヘテ參リモスルシ、又或ハ二三時間モ猶豫ガアレバ調ベテ置キマスガ、唯今新聞チ一々出シテ申ス譯ニハイキマセヌカラドウカ左様ニ……

○村上桂策君 今、政府委員ノ御答辯ニ私ノ質問シタ所ハ委員會ニ於テハ最モ質疑スベキ點デアル、然ルニ當議場ニ於テ之ヲ問フト云フコトニ至ッテハ豫メサウ云フコトチ尋子ナクテハ御答辯ガ出來ヌト云フデゴザイマス、併シ私ノ思ヒマスルニハ固ヨリ先刻委員長ニ成リ代ッタル清浦奎吾君ニ御尋子申シマシタ所ガ清浦君ノ申スニハ委員會全會一致デ新聞チ今日偏頗ナ處置ヲ致シテ居ルト云フコトハ認メテ居ルガ其事柄ハ認メナカッタト云フ、斯ウ終リニ言ハレタ譯デアアルガ夫レ等ノコトチ取調ベニナッタモノデアラウト考ヘテ居ッタ、然ルニ茲ニ至ッテ御尋子ヲ致シタレバ丸デ言葉ヲ變ヘラレタ様ニ思フ、デ是レハ先ヅサウト致シマシテ、政府委員ニ申シマスガ更ニ要求ト致シマス、ドウカ私ハ一時間係リマシテモ二時間係リマシテモ是レハ必要ト思ヒマス、夫レニ依ッテ判斷スルヨリ外ニ途ハナカラウト私ノミナラズ諸君ニ於テモ御同感ト思ヒマス、若シ之ヲ入ラナイト云フ滿場諸君デアラナラバ致シ方モナイガ私ハ多分御同感デアラウト考ヘル、是レガナケレバ原案ヲ賛成スルナリ又修正説ヲ賛成スルナリ、夫レガ分ラナケレバ一向分ラヌ、之チ鄭重ニ諸君ガ御議シナサル御考ヘデアアルナラバ私ノ質問ハ諸君ニ於テモ御必要ノコトト考ヘル、

○清浦奎吾君 委員會デ何カ十分ノ調査ヲシナカッタ様ナ口氣モ其中ニ交リマシタカラ私ハ委員ノ一人トシテ委員會ノ面目ヲ保ツタメニ一言致シテ置クノデアリマス、其今年ニナッテ即チ二十七年ノ五月マデニドノ位ノ發行停止ヲ致シタカト云フコトモ取調ベテ見マシタ、夫レハ五十六回、其内治安妨害ガ五十二、風俗壞亂ガ四、夫レカラ二十六年ニハ一箇年即チ十二箇月ニ八十七回、其内治安妨害ガ八十二、風俗壞亂ガ五、二十五年ニハ八十七、其内治安妨害ガ八十三、風俗壞亂ガ四、斯ウ云フコトヲ取調ベテ見マシタノデゴサイマス、ソコデ今年杯ハ最も多イ五箇月間ニ五十六、二十六年ハ一箇年ニ八十七、今年ハ餘程多イ様デゴザイマス、夫レカラ如何ナル新聞ガ風俗壞亂デ發行停止ヲ受ケタカト云フコトニ附イテハ其新聞ヲ見マスル積リデ實ハ委員ノ一人タル富田鐵之助君ヨリ政府ニ向ッテ要求サレタノデアアル、デ夫レハ政府委員ヨリ調ベルト云フコトデアッタ様ニ私ハ記憶致シテ居ルノデアリマスガ、段々其審査ノ急速ヲ要シマスタメニ大概委員諸君ノ腦髓ニモ發行停止ノ處分ノ公平不公平如何ト云フコトハ凡ソ御分リニナッテ居ル様デモゴザイマスカラ、實ハ富田君ヨリ要求ガゴザイマシタガ政府委員ヨリ示サレヌ前ニ決議ニナリマシタガ其事ハ大概分ッテ居リマスカラ決議ニナッタノデアリマス、委員ニ於テモ相當盡スベキ丈ケノコトハ盡シテ居ル譯デゴザイマスカラ、唯今段々御説モアリマシタカラ旁々其事ヲ辯明シテ置キマス、

〔子爵谷干城君演壇ニ登ル〕

○子爵谷干城君 諸君、唯今ノ議題ニナッテ居リマスル案ニ於キマシテハ御承知ノ通り第二期ニ衆議院ニ於テ初メ可決ニナリマシテ此方ニ參リマス、サウシテ委員會デ到頭報告ナシニ所謂擲シタト云フモノニナリマシタ、夫レカラ其次ノガ三浦君ガ今言ハレタ通りノコトデ、三浦君方ガ即チ少數意見トシテ反對ヲナサレタ、實ハ今日ハ御忘レニナッテ居ル御方モアルカモ知レズ、自分モ或ハ忘レテ居ルカト思ッテ其時分ノ速記録ヲ玆ニ持ッテ來テ居リマス、段々三浦君カラ今日辯解ニナリマシタカラ敢テ速記録ノ必要モナイ、大畧最早本員ニ於キマシテハ此速記録ニアル所ヲ再ビ述ベルヨリ外ニ述ベヤウハナイ、本員ハ最初ヨリ此新聞紙條例ト云フモノハ憲法ノ精神ニ違背シテ居ルモノデアルト云フガ最初カラノ持論、今日ト雖モ依然トシテ其通り、夫レハ即チ此憲法ノ二十九條ニ於テ法律ノ範圍内ニ於テ言論出版集會ノ自由ヲ得ルト云フコトガアル、法律ノ範圍内ト云フコトハアルケレドモ行政官ガ行政處分デ勝手ニシテ宜イト云フコトハナイ、夫レデ是レハ詰マリ色々ト理窟ヲ附ケレバ免モ角モ憲法二十九條ニ背反シタモノト云フガ最初ヨリノ考ヘデ、是レハ即チ其事ニ附イテ加藤君ト兎ヤ角ニ辯論シタコトモ或ハ御記憶ニナッテ居ルト考ヘルカラモウ再ビ述ベル必要ハアリマセヌ、ソコデ此事ニ

附キテ近來ニ至ッテ殊ニ發行停止ト云フモノヲ濫用スル、夫レハ既ニ委員諸君ノ全會ニ於テモ其通り認メラレタト致シマスレバ近來ノ政府ノ發行停止ト云フモノハ愈々濫發シタト云フコトハモウ明ナ譯デ、夫レデ之ニ附イテ政府委員ノ述ベラレマシタ所デハドウモ其之ヲ頓ニ廢スルト云フコトハ時勢ガ許サヌ、追々進歩シテ來タナラ兎モ角何分今日ノ場合ニ於テ之ヲ全廢スルト云フコトハ許サヌト云フガ説明ナセラレタ要點デアルト考ヘル、玆ニ本員ハ大ニ疑ヲ起ス、サウスルト此時勢ト云フモノハ跡ニ戻ル、退却スルト見ナケレバナラヌ、ナゼ退却スルカト云フコト前ノ内閣ノ時分ニハ度數ガ少カッタ、此新内閣ニナッタラ度數ガ多クナッタト見タラバ前内閣ニ比レバ一體ノ此人文ノ進度ト云フモノハ跡戻リナシタト云フ論理ガ出テ來ル、是レハ本員ナドノ甚ダ受取レヌ譯デ、決シテ此時勢ガ跡戻リナシタデハナカラウト思フ、時勢ハ矢張り進ンダ、人文モ總テ進ンデ居ルト思フ、所ガ此清浦君カラ御説明モアリマシタガ近年ニ至ッテ即チ伊藤總理大臣ガ明治二十五年八月八日ニ總理大臣ニ任セラレテ以來新聞雜誌等ノ發行停止等ヲ命ゼラレマシタ所ハ是レハ即チ本員ガ調ベテ居ルモノハ多ク官報ニ上ッテ居ルモノデ、其内イッテ解停ニナッタカ分ラナイ様ナモノハドウモ調ベヤウガナイガ、夫レ委シウ官報ハ調ベタ積リデ、其二十五年八月八日ヨリシテ今日マデニ停止セラレタル所ノ新聞雜誌ノ數ヲ合セルト種類ガ九十三デス、九十三ト云フ此府下各縣ニ分布シテ居ル所ノ新聞ヲ停止シタ、其中未ダ停止中ニアッテ是レカラ何時マデ行クヤラ分ラナイモノガ五ツアル、新朝野或ハ毎日、甲陽新報トカ中央新聞トカ立憲改進黨々報トカ云フモノハ先ヅ私ガ調ベタ中デハ未ダ是レハ發行ヲ許サレヌ様ニアル、サウスレバ合セテ五ツト云フモノハ今止メラレ中デアアル、夫レデ風俗壞亂ト云フハ清浦君モ説カレタル如ク誠ニ少イノデアアル、玆ニ風俗壞亂ハ必要ガアリマセヌカラ是レハ調ベマセヌ、除ケマシテ全國ノ新聞雜誌デ治安ニ妨害アリト認メラレテ發行ヲ停止サレタル所ノ度數ハ私ガ調ベタニ八百五十一回停メラレテ居ル、其中日數ニ於キマシテハ今上ニ申シタ通りイッテ解停ニナッタカ分ラナイ様ナモノハ省イテ、分ッテ所ノ停止ノ日數ヲ舉ゲルト一千六百八十七日ト云フモノニナル、隨分大層ナ日數ニナル、所ガ此新聞ハ固ヨリ或ハ政治ノ機關ニナリ或ハ其中ニハ商業機關ノモノモアリマセウガ何ニ致セ少キハ二十四五人、多キハ百四五十人ト云フ人數ガ掛ッテ之ヲ以テ生活シテ居ル人數ト云フモノハ中々夥シイコトデアリマス、又一ツノ商業デアリマスカラ夫レ相應ニ營業稅ト云フモノヲ政府ハ納メテ、サウシテ是レハ營業シテ居ル、又私ガ調ベタ中ニ屢々政府ニ停メラレルガタメニ成立タズシテ倒レタト思ハル、新聞モアリ、殆ド倒レムトスル新聞モアラウト思フ、ケレドモ斯ノ如ク頻繁ニ無理ナ事ヲスルモノデアリマスカラ又義侠心ヲ發シテ

カラニ之ヲ助ケル者モアル、カラシテ夫レガタメニ助カッテ居ルコトモ幾ラモアリマセウ、夫レデスノ如ク多數ノ新聞雜誌ヲ停メ、數回、數百回ノ停止ヲ命ジ數十日ノ休業ヲサスルト云フコトハ人民ノ營業、人民ノ權利ヲ害スルノ甚シキモノデアル、是レ等ノコトヲ能ク我が天皇ノ欽定ヲ以テ發セラレタル憲法二十九條ノ精神ニ引較ベテ考ヘテ見マスレバ如何デアリマセウカ、實ニ不都合千萬ト謂ハズバナラヌ、日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ言論、著作、印行、集會及結社ノ自由ヲ有スト云フコトガアリマス、夫レデ此唯今ノ内閣ニ於テハ既ニ委員會ノ全員一致デ停止ヲ濫行シタトモ認メラレル程行ッテ居ル、實ニ言語道斷ト謂ハナケレバナラヌ、畢竟斯ノ如クドウモ其不條理ナモノガ存シテアルカラシテ之ヲ濫用スルノデ、畢竟停止ノ多イト云フハ何故ニ多イカト斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マスルト明ニナラウト思フ、畢竟内閣ガ薄弱デ人望ヲ失フカラ自然ト攻撃ガ多クナッテ了度肺病ヤミガ其傍デ高イ聲ヲスレバ夫レガ直グ病人ニ障ルト斯ウ云フ様ナ譯デアアル、殆ド今日ノ内閣ハ肺病内閣ト我々ハ云フ、夫レデ己ミヲ得ズ今ノ通り猥ニ發行ヲ停止シ人民ノ營業ヲ妨ゲルト云フ様ナコトナスル、夫レデ是レハ何モ時勢ガ退歩シタデハナイ、即チ内閣ガ退歩シタノダカラ寧ロ前ノ内閣ガ善カッタ、元氣ガアッタノダ、到頭今日ノ有様デハ古來謂フ所ノ疾ヲ守ッテ醫ヲ忌ムト云フ、却ッテ己ノ疾ヲ大切ニシテ醫者ノ小言ヲ嫌フト云フ有様ニナッテ居ル、夫レ故ニ此健康ヲ復スルニハ即チ十分ナル藥石ヲ投ジ子バナラヌ、其藥石デハ即チ新聞ハ一ツノ方劑デ最モキ、目ガアル、夫レデ是レ等ノ中ニ於キマシテハ諸君モ御承知ノコトデアリマスルカラ深ク喋々ハ致シマセヌガ衆議院ニ於テハ既ニ今度デ三度シテ居ル、又此處デ否決スル、又出テ來マス、斯ノ如ク輿論之ヲ非トシ又爰ノ委員會ニ於テモ政府ノ發行停止ノ度ニ於テハヒドイト云フコトヲ認メテ居ルモノヲ尙ホ之ヲ維持シテ參ラウト云フハ是レハ眞ニ輿論ニ背展スルト云フモノデアリマス、又一ツ辯ジテ置カヌナラヌハ是レハ畢竟豫防ノタメデアアルニ依ッテ之ヲ存シテ置カ子バ遂ニ豫防ノ趣意ガ立タヌト云フモノダ、衆議院ヨリ廻ッテ原案ノ儘デハ遂ニ此目的ヲ達スル譯ニ往カナイカラ、ドウシテモ發行停止ハ豫防ノタメニ置カヌナラヌト、斯ウ云フコトガアリマスガ、私ガ豫防デ一ツ效力ガアッタト思フコトガアル、夫レハ何カト云フト去年ノイツ頃デアッタカ、自由新聞ト思フガ、何カ藤田組ノ事ヲ書クト云フコトヲ廣告シタ、其廣告デ直グ停メラレタ、是レ等ハ即チ誠ニ豫防ガ適當デ豫防ノ必要ヲ認メタノハ一箇所、本員杯ハ新聞好キデアリマスカラ隨分新聞ハ餘計讀ム、又新聞ノタメニ餘程學問ヲシタ人間デアリマス、是レハ成ル程餘程キ、目ガアッタ、併ナガラ又外カラ出テ來ルカラ何ニモナラナイ、夫レデ今日治安ヲ妨害スルカト云フニ何モ外ヘ出テ來タ所ガ治安ヲ妨害スル丈ケノコ

トモナシ、又自由新聞ガ書クト云ウタノモアノ位ノモノデアラウ、サウスレバ何モ治安ヲ妨害ニナラヌ、夫レガ又一ツノ證據デアアル、夫レデ之ヲ要スルニ政府ノ認メテ以テ治安ヲ妨害トスル所ノモノハ治安ヲ妨害ニアラズシテ即チ此筆記ニモ云ウテアリマスルガ吏安妨害、役人ノ安ヲ維持シヤウトスルタメニ發行ヲ停止スル、是レハドウモ不都合ダ、若シ己ガ攻撃セラレテ遺憾ニ思フコトガアラバ、夫々手續ガアル、誹毀罪ト云フコトモアル、是レ等ノ條ヲ置イテ置ケバ是レカラ先キ又何チシヤウヤラ知レナイ、サウスレバ茲デ諸君ガ此衆議院案ヲ否決シタナラバ今後發行停止ニ遭フ新聞ハ即チ諸君ガ停止スルノデアアル、サウス云フ道理ニナッテ來ル、又一方ノ點カラ云フト政府ガ政府ノ味方ノ新聞ノ事ハドンナコトヲ書イテモ停メナイ、現ニ小澤前中將ガ免官ノ時ニ於キマシテハ東京日々新聞、東京新報ハドウ云フコトヲ書イタカ、軍人ヲ教唆スル文章ヲ掲ゲテ居ル、夫レデモ發行ヲ停止シナイ、タッタ一度衆議院ノ惡口ヲ云フト云フノデ停メラレタコトガアル、夫レ位ノコトデアアル、又今日ノ日々新聞ヲ見ルトドウ云フコトガ書イテアルカト云フト此衆議院カラ廻ッタ所ノ新聞條例ガ假令可決シタ所ガ決シテ政府ニ於テハ斷然ト御不裁可ヲ奏請スル積リデアルト云フコトヲ書イテ居ル、無禮千萬ナ話デアアル、是レモ停メナイニ斯ノ如ク無禮ナコトヲ書クニ停メナイ、是レハ政府ガサスルノデアルカラ停メナイ、我々ハ御承知ノ通り新聞ヲ以テ誠ニ益友トスル、新聞社ニハ隨分友達ガ澤山アル、夫レ故ニ最負スル様ニ御取込カハ知レヌケレドモ、夫レハ幾分カアルニ違ヒナイ、アルニ相違ナイガ段々斯ノ如キコトヲ既ニ衆議院デ一、二、三ト踏シテ來タ、又今潰シテ四デモ潰ス、五デモ潰ス、又政府ガ停止ヲ濫用スルコトヲ此方針デ往キマスレバ諸君ガサスルノデアアル、之ヲ停止シタラドウ云フ結果ニナルカト云フト人ハ物ヲ言ウテ見レバ腹ガ落著クモノデアアル、ケレドモ言ハセマイトシテ口ヲ塞グカラタマラナイ、古ヨリ是レハ唐ニ於キマシテモ其通りデアアル、言ヲ塞グハ河ヲ塞グ如クデアッテ潰暴四出防ガレヌ様ニナル、言論ノ大切ナルト云フコトハ支那ニ於テモ既ニ云ウテ居ル、アー云フ壓制ノ國デモ云ウテ居ル、況ヤ今日憲法政治ト云フ立派ナ題目ヲ掲ゲテ居リ、サウシテ尙ホ之ヲ存スルハ言語道斷デアアル、夫レデ凡ソ我々ガ新聞ヲ隨分數々見マスルガ發行停止ニ遭ッタト云フコトヲ聞イテカラニ始メテ又繰返シ、ドコデ發行停止ニナッタラウ、ドコガ國安ヲ妨害スルコトデアッタラウト再ビ見テ見ル、中々分ラヌ、ヒヨット是レデモアラウト云フ様ナコトデアリマスタメニ屢ニ發行停止チスルガタメニ幾タビモ見返ス様ニナルカラ、アー成ル程是レカト云フ様ナコトニナッテ却ッテ夫レガ治安ヲ妨害ニナル、前ニハ何トモ思ハズ見テ居ルノガ又再ビ繰返ス様ニナルカラ頗ル是レハ治安ヲ妨害ニナル、夫レカラシテ又之ヲ檢査スル人間ハドウ云

フ者ガスルカ、屬官ガスルカ何ガスルカハ知ラヌケレドモ何ニシロ立派ナ人間デハナイニ相違ナイ、サウ云フ者ガ立派ナ人間デナイ奴等ガ之ヲ調ベテ、サア是レハ發行ヲ停止シナケレバナラヌ、斯ウセ子バ往キマセヌト云フコトヲ申シ出スト云フコトデアリマスカラ實ニ危險ナ話デ、夫レガドウ云フモノカト云フト、今御話スル通り其害ヲ被ルモノハ少キハ二十人多キハ百五十人ト云フ職工ノ生活シテ居ルモノヲ止メル、是レ程エライモノハナイト思フ、ナニ一週間ナラ短イ五日ナラ譯ハナイト云フガ諸君ニハ譯ハナイカモ知レマセヌガ其身ニナッテ見レバ成ル程ヂャト思フ、夫レガタメニ新聞ガ潰レル、夫レヲ潰シテ以テ愉快ト思フモノハ實ニ國家人民ニ對シテ不親切、已ノ顔ノ不潔ナヲ笑ハレルガタメニ向フノ者ノ耳ヲ閉ギ目ヲ掩フハ無理ナ話ヂャ、夫レデ諸君ハ何分最早既ニ是レガ廻ッタニ附イテ三回モ來テ居リマスカラ篤ト御熟考ニナリマシテ衆議院ノ案ノ方ニ贊成ヲセラレテ通過ニナルコトヲ本員ハ希望致シマス、デ三浦君ニ對シテハ云ヒタイコトモアリマスケレドモモウ今日ハ德義ヲ守ッテ云ヒマセヌ、

○侯爵醍醐忠順君 未ダ通告ガゴザリマスカ何ヒマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 最早ゴザリマセヌ、御發言ニナッテ宜シウゴザリマスカラ……

○侯爵醍醐忠順君 簡單デゴザリマスカラ是レヨリ……

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) ドウゾ演壇ニ御出デ下サイ、

○侯爵醍醐忠順君演壇ニ登ル

……冷淡ナルモノト認メラレモ致シマセウガ本員ハ決シテ冷淡デハ平日ナイノデ、夫レ故ニ時ニ取ッテ猶ホ以テ反對說ヲ唱フルコトモアル、簡短ト申シマシタガ要スルニ我ガ希望ヲ述ベマスルト少シ谷君ノ御見解ノ處ニ附キマシテ再ビ新聞ヲ閱スルニ依ッテ却ッテ妨害トナルト云フ様ナ點ニ對シマシテハ少シ御質問ヲ致シタイヤニ思ヒマスルガ、要スルニ無用ニ歸シマスルカラ夫レハ止メマスル、擬此案ニ附キマシテ衆議院ヨリ出マシタ案ト現行ノ法トナ比較テ致シマスレバ我々ハ現行法ヲ存シテ置キタイ趣意デゴザリマス、又現行ノ法律ト委員デ調ベマシタ修正案トナ比較致シマスレバ委員ノ取調ベニ誠ニ贊成致シマス、本員ノ平日希望致シテ居リマス處ヨリ又一層進ンダ宜イ案ト信用致シマス、方今ノ利害ヲ酌シテ實ニ適當、當テ得タル御修正ト感服致シマシタ、又希望ニ暗合致シマス、モウ要スル所ガ委員デ御調ベニナリマシタ修正案ヲ要スルニ極贊成ヲ致スニ止メマスル譯、我ガ希望ヲ推シマスレバ滿場諸君モ委員ノ修正ニ御贊成アラムコトヲ本員ハ希望致シマス、

〔政府委員末松謙澄君演壇ニ登ル〕

○政府委員(末松謙澄君) 唯今谷子爵ヨリ衆議院ノ案ニ贊成ノ御演說ガゴザリマシタ、承リマシタ處々御論ジニナリマシテ原案ヲ贊成スルニ至ッテ餘ス處モナイ様デゴザリマス、之ニ對シテ餘リ長イコトヲ申シテ反對ヲ致ス譯デハゴザリマセヌ、併ナガラ一言ハ致シテ置カナケレバナナルマイカト存ジマス、デ谷子爵ハ主トシテ停止ヲ致セバ其間職工ナドガ其業ヲ休ムコトニナルカラ財産ノ上ニ於テ困難スルデハナイカトカ何ト云フ様ナル御論ガ段々ゴザリマシテ格別停止ノ效能ハナイ、自分ノ都合ノ惡ルイモノ丈ケ停メルト云フ様ナル御論ガゴザリマシタガ、是レ等ノコトハ無論政府ニ於キマシテモ全ク知ラヌト云フコトデハナイノデアアル、停止ニナレバ其間新聞社ガ困難スルト云フコトハ當然ノコトデゴザリマス、併ナガラ新聞ノ發行停止ノ事柄ト云フモノハ普通ノ營業トハ自ラ違フモノデアアルト云フコトニモチト御考ヘテ願ヒタイノデゴザリマス、外國ノ例ヲ引キマスルモ如何デアリマスルガ、既ニふりんちリナゾモ新聞雜誌記者ハ試驗ヲシテ……文官試驗ノ如キ試驗ヲ行ッテ許スト云フ、夫レガ一番宜シイト云フ議論ヲシタ位デゴザリマス、普通營業ノ事業トハ違ッタモノト思フ、實ニ新聞紙ノタメニ社會ノ幸福人民ノ利害ニ關係ヲ及ボシ或ハ國家ノ上ニ容易ナラザルコトヲ及ボス利器デアリ代リニ又一方ニ於テハ兇器トナル性質ノモノデアアルト云フコトハ十分御承知ノコトト思フ、然ル故ニ彼ノ烟草ヲ賣ルトカ菓子ヲ賣ルトカ云フ者トハ同視スルコトハ出來ヌト云フコトモ御承知デゴザリマセウ、

〔子爵谷干城君〕夫レ故ニ法律ガアル取締條例ガアルノデアアルト述

而シテ此近來ノ或ハ濫用スルコトガアル、或ハ何カ多イト云フタメニ大分御感觸モ惡ルイ様デゴザリマスガ、一時サウ云フコトガアルカラト云ウテ全ク發行停止ヲ取捨ルト云フコトモ如何デアリマセウカ十分御考ヘテ願ヒタイ、既ニ富田議員ヨリ少シ例ヲ見セロト云フ其話モゴザリマシタカラ茲ニ其例ヲ携ヘテハ居リマスルガ今之ヲ讀ムル必要モナイガ隨分甚シキコトガアルノデ、今日彼ノ簡條ガアルタメニ斯様ナルコトヲバ今ノサウ云フ様ナ意味デ書イテハ停止ニナルト云フ様ナ譯デ、中ニハ注意シテ止メルト云フ事柄モ隨分アリマスノデ、隨分此事柄ハ重要ナルコトデゴザリマス、成ル程一方カラ云ヘバ攻撃スルコトモアリマセウガ、全ク取除ケルト云フト如何ナル結果ニナルカト云フコトヲ御承知テ願ヒタイト思フ、

○子爵曾我祐準君 政府委員ニ質問ヲ致シタイ、世間デ申シマスルニハ新聞紙ヲ停メルノハ檢閱スルモノガ新聞ヲ見テ惡ルイト思フ處ニ點ヲ附ケテ點ガ十點ニ達スルト夫レカラ停メルト云フコトデゴザリマスガソナコトガ實際ゴザリマスカ、

○政府委員(末松謙澄君) 唯今曾我子爵ノ御尋子ハ外ノ所デ曾我君ガモウ御承知ノコトカト思ヒマス、併シ此議場デ御問ヒニナツタ以上ハ……サウ云フ様ナ話ガアル様デアリマスガ夫レハ拵ヘ事デハナイカト思ヒマス、其當局者ハ内務省ニ於テ重ニ掌ツテ居ルノデスガ、茲デ調ベマスニハ其時々ノ新聞ニ注意シテ斯ウ云フコトガアツタニ據ツテ主トシテ注目スルニ相違ナイ、去ナガラ或ハ新聞ニ依ッテハ過チニ依ッテヒヨット出來タ事柄デ格別尤メルニモ及バヌ様ナコトモ或ハ停止ヲ受ケルコトモアリマシテ、實際性質ニ依ッテハ殆ド禁止スベカラザルモノモアル、今日私ハ全クアリトハ申シマセヌガ若シアリマシタ時ニハ彼ノ全ク禁止ト云フ場合ニ往クコトモアリマセウ、多少新聞紙ノ成立ヲ考ヘル様ナコトモアリマセウガ、併シ點取ヲ見テ果シテ是レガ幾ツニ達スルト停止スルト云フ様ナ規則ガアルト云フ譯デハナイト思ヒマス、

〔菊池武夫君演壇ニ登ル〕

○菊池武夫君 私ハ此衆議院ノ回付ニ係ル原案ヲ贊成スルモノデアリマス、此發行停止禁止ナンゾト云フコトヲ一ノ豫防ノ手段ト致スト云フコトハ甚ダ其道理ニ適ハヌコトデアラウト信ズルノデゴザリマス、豫防ノ手段ト申シマスルト未ダ發表セザル處ノ意思ニ附イテ罰ヲ加フルト未ダ著手ナサザル行爲ニ付テ懲ラシメヲ爲スト云フコトニ當ルデアラウト思フ、彼様ノコトノ當ヲ得ヌト云フコトハクダクダシク申上ゲルマデモアルマイト思ヒマス、是レハ非常ナ手段ト云ハナケレバナラヌ、果シテ又左様ナ非常ナ手段ヲ用フベキ玆ニ事情ガアリマスナラバ又是レモ考ヘモノデアラウト思フ、併ナガラ我々ノ考ヘマスル所ニ依リマスルト今日ノ事情ハ決シテ左様ナモノデアルマイト思フ、成ル程一時ハ何事モ政府ノ手カラ致シテ啓發ヲ致シ政府カラ誘導シテ凡テノコトヲ成リ立タセルト云フ風ノ傾ガアリマス、凡テ政府ノ威信ト云フモノハヒドイ強イ時代ガアツタノデアアル、知識モ政府ニ集マリ何事モ政府ニ集マリマシテ、政府ノ外殆ド人ノナイト云フ時代ガアツタノデアアル、廣イ世間ニ於キマシテモ民權デアルトカ或ハ自由デアルトカ政治ノ初歩ヲ學ンデ居ル時分ハ随分人ガ政治ニ熱シタモノデアアル、分外ニ政治論ニ熱シタモノデアアル、斯様ナ時代ニ於キマシテ若シモ此政論ノ途ヲ誤マラセテ左様ナ浮カレ易イ人民ヲ協道ニ導ビクダメニ過激ノ論ヲ吐キマシテ横道ニ之ヲ導クト云フ時ニハ條例ニ所謂治安妨害ト云フ結果ガ生ゼトモ申サレヌノデアリ、然レドモ今日ハドウデアリマセウカ、段々サウ云フ時代ハ過去去リマシテ政治以外ニ於キマシテモ種々人智ガ發達シテ參ッテ世ノ中ニハ色々ノ仕事ガアツテ單ニ政治ノミニ勢ヲ專ニスルト云フ時代ハ過去去ッタノデアアル、段々政治モ人事ノホンノ一部デアアル、然カモ段々其小サイ部分ニ成リ掛ッテ居ル世ノ中デア

ル、殊ニ此實業ノ發達ト云フコトハ諸人モ認メテ許シテ居ル所デアリマス、即チ世人モ政治ト云フコトニハ最早今日ハ熱中セト云フ有様デアアルト私ハ信ズルノデアリマス、斯ウ云フ世ノ中ニ當リマシテ眞シバ新聞ニ激論ガ載セテアラウトモ、危言ガ載セテアラウトモ、法律學校ヤ何カノ討論會ノ様ニ唯空漠タル理論ヲ幾ラ掲載致シテ見マシタ所ガ、世間ノ人ガ決シテ今ヂヤ一夫レニ乘ッテ浮氣ニナラヌ、モウサウ云フ時代ガ過去去ッタモノト認定シテ蓋シ誤ナイデアラウト思ヒマス、幾ラ政府ニ於キマシテ憲法ノ解釋ヲドウ致シマセウトモ矢張り生絲ハ賣レテ行ク、輸出スベキ茶ハ輸出ニナル、如何ニ議會ガ政府ヲ信用スルトカ、セメトカ言ヒマシタ所ガ又新聞屋ガ其様ナ文字ヲ載セテ見マシタ所ガ例ヘバ紡績業ガ夫レガタメニ發達ヲ妨ケラレルト云フ様ナ恐ガ決シテ今日ハ無いノデアアル、一向世ノ人ガ、寧ロ政論ニハ飽イテ仕舞ッテ以前ハ内閣交迭杯ガアルト何モ格別關係ノ無い人ガ、ヤイヤイト言ッテ持離シタモノガ、今日ニナッテ見ルト殆ド官報ノ上デ時々葡萄牙ヤせるびヤノ内閣ノ交迭デモ見ルガ如キ有様ニ赴イテ居ルノデアアル、然ラバ世ノ中ノ様カラシテ見テモ決シテ新聞ノ記事ニ依ッテ……殊ニ此政論ガ重デアリマセウ、治安ヲ妨害スルト認メラル、モノハ政論ガ重デアルガ、如何ナル政論ガ新聞ニ載ッテ居ッテモ日本國民ガ之ガ爲メニ横道ヘ導カレマシテ銘々其ノ重ンズル所ノ國安ト云フ様ナモノヲ害スル様ナ結果ヲ仕出カス様ナ、最早、幼稚ナ人民ヂヤ一ナイ、サウ致シマスルト決シテ此發行停止ナゾノ非常ナ處分ヲ爲スノ權力ヲ法律デ以テ政府ノ手ニ留メテ置カナケレバ國安ト云フモノノ維持ガ覺束ナイト云フ恐ハアリマスマイト思ヒマス、詰マリ今日ノ國安ハ誰レガ維持シテ居ルカト云フト決シテ政府ノ手ニツデ維持シテ居ルノデナイ、人民ガ自ラ國安ヲ維持スル丈ケノ能力ガ頗ル今日ハ發達シテ居ルモノト謂ハナケレバナラヌ、又常ニ外國ニ向ヒマシテハ我々ハ彼等ガ想像スルガ如キ半開ノ國民ヂヤノ何ヂヤノト云フ者ヂヤ一無い、開化ノ模様コソ違ヒマスルケレドモ文明ノ程度ニ於キマシテ左程彼等ニ讓ラヌ人民デアルト云フ事實ヲバ成ルベク世界ニ發表シタイト勉メテ居ルノデアアル、殊ニ政府ニ於カレマシテモ寧ロ其點ニハ頗ル意ヲ注ガレテ居ルコトデアアル、然ルニ今日此衆議院カラ回ハリマシタ所ノ案ニ、政府其他ノ人ガ反對ヲセラル、ト云フコトニナリマス、恰モ我が國民ハ御前達ノ想像スルガ如ク半開ノ人民デアッテ斯様ナ不道理ニモ拘ラズ何ゾ非常ナ手段ヲ以テ取締ッテ置カナケレバドウモ安心ノナラナイ人民デアルト云フコトヲ世界ニ向ッテ發表スルコトニ等シイコトデアラウト思フ、即チ銘々日本國民タル者ノ皆懷イテ居リマスル所ノ兼テノ希望ニ反スル様ナ結果ヲ生ズラウト思ヒマス、故ニ何レニシテモ、處分其物ノ性質カラ論ジマシテ見マシテモ、又今日國民ノ狀態如何ト云フコトカラ見マシテ

モ、又一方ニ目ヲ國外ニ轉ジテ考ヘテ見マシテモ、ドウモ斯様ナル唯今マデ  
ノ新聞紙條例第十九條ニアリマスル様ナ處分ヲ廢サウト云フ方ノ方向ヲ持チ  
マシタ所ノ案ニ反對ナスルト云フ道理ガナイモノト私ハ深ク信ズルノデア  
ル、今日ヨリ以後ハ我が人民ヲ輕ンズルトカ或ハ之ヲ敵ニスルトカ云フ風  
ナ神經的ノ考ヘハ止メテ仕舞ウテ國民ニ深ク信ヲ置イテ、サウシテ之ト共ニ  
歩ムト云フ方ノ方畧ヲ取ルコソ時世相當ノモノデアラウト思ヒマスルカシ  
テ、ソコハ頗ル餘計ノ様ニ涉リマスルケレドモ、範圍外ノ様ニ涉リマスル  
ドモ矢張り此發行停止ヲ存スルカ如何ト云フコトニ附イテハ是レ等ノ考ヘハ  
頗ル緊要デアラウト思ヒマス、右等ノ理由ヲ以チマシテ私ハ衆議院廻付ノ案  
ニ贊成スルノデアリマス、

○尾崎三良君 外ニ通告者ガ無ケレバソコヘ出マシテ宜シウゴザイマス  
カ、  
○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 宜シウゴザイマス、  
○尾崎三良君 一向此案ニ附イテハ先刻カラ原案贊成ノ論バカリデ此修正  
案ニ對シテ贊成シタ御論ハ唯委員長ノ代理トシテ清浦君ガ述べテレタバカリ  
デアル様デスカラ……

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 尾崎君ニ申シマスガ修正案ノ主意ヲ御述ベニ  
ナルノデスカ、  
○尾崎三良君 イエ、サウチャアアリマセヌ、  
○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 大體ノ御論デスカ、

○尾崎三良君 サウデゴザンス、修正案ニハ不同意ナノデス、マ一殆ド敵  
ノ無イノニ矢ヲ放ツ様ナ心持ガシマスケレドモ、本員モ此新聞紙條例ニ附イ  
テハ殆ド二十年前カラ關係ガゴザイマスカラ一言述べテ諸君ノ御聞ニ達シテ  
置キタイト存ジマス、尤モ此唯今問題ニナツテ居リマスル所ノ此現行條例ノ  
第十九條ヲ削除スルト云フコトハモウ殆ド此日本國中ノ輿論デアルト本員ハ  
信ジテ居リマス、日本國中ノミナラス斯ノ如キ條件ハ立憲政治ニハドウシテ  
モアルマジキモノデアルト云フコトハ是レハ殆ド天下ノ輿論ト謂ウテ宜シカ  
ラウト思ヒマス、斯ノ如キ輿論ニナツテ居ル、今日ハ政黨ノ内外ヲ問ハズ、  
以前ハ政黨者ガ頗ニ此事ヲ主張シテ其以外ノ者ハ或ハドレ丈ケカ躊躇シタ氣  
味モアリマスケレドモ、今日ハ政黨者ノ外ノ者マデモ此事ニ附イテハモウ殆  
ド異論ハナイト思ヒマス、唯此事ヲ躊躇スルノハ僅ナ、日本國民ニ對シテハ  
僅ナ小部分ノ人ガ之ヲ廢スルコトヲ大變イヤガル、デ政黨者ノ方ニシマシテ  
モ色々アリマスルケレドモ、マア近來ハ政府黨負テ政黨者ニシテモ既ニ此事  
ハ是非廢止セニヤナラヌト云フコトハ皆同意シテ居ル、一國ノ輿論ハ其通  
リ、僅ナ部分即チ現今ノ政府ノ人ガ之ヲイヤガル、イヤガルト云フノハ唯是

レガアレバ自分ノ非難ヲ言ハセヌ様ニ幾ラカ止メラレルト云フ位ノ考ヘデア  
ラウト思フ、是レモソリヤ一其局ニ當ッテ見マスルト、我々モ久シク政府部内  
ニ居リマシタガ、サウ云フ様ナ考ヘノ時トシテ出ヌコトハ無イケレドモ是レ  
ハ能ク心ヲ平ニシテ御考ヘニナツタラバ、夫レハ甚ダ僻論デアルト云フコト  
ハ自ラ御悟リニナルデアラウト思フ、尤モ此事モ時勢ニ依ッテハ或ハ必要ナ  
コトモアッタニ違ヒナカラウト思ヒマス、デ是レマデノ沿革ヲ一ト通り御話  
スルモ強チ無益デハナカラウト存ジマスカラ簡短ニ沿革ヲ申述ベテ置キマス  
ルガ、抑、此新聞紙條例ノ始リト云フモノハ明治八年デアリマス、尤モ夫レ  
ヨリ以前ニ新聞紙條例目ト云フモノガアリマシタケレドモ是レハ今日ノ様ナ細  
密ナ法律デハナカッタト存ジマス、夫レハドウモ見出シマセヌカラ、ドンナ  
モノデアッタカ知レマセヌガ、隨分其頃ハ無茶苦茶ナモノヲ書イタノデ、夫  
レカラ明治八年ノ時ニ地方官會議ト云フモノヲ起スニ一方ニ斯ノ如キ無茶苦  
茶ナ事ヲ言ハセテ夫レデ制裁ガ無クッテハ一國ノ治安ハ保テヌト云フ所カ  
ラ、明治八年ノ六月二十八日ノコトデゴザイマス、第百一十一號ノ布告ヲ以テ  
公布サレタノガ其時ノ新聞紙條例デアアル、此新聞紙條例ヲ發布致シタ時ニハ  
諸君モ御記憶デアリマセウガ大層反對者ガアッタ、反對者ノミナラズ甚シキ  
ハ當局官吏ノ中ニ反對者ガアッテ内務省杯デ……是レハ内務省取扱フベキモ  
ノデアルトシタ所デ、内務ノ官員杯ガ中ニ斯ンナモノヲ拵ヘテ迎モ行レル話  
デナイト斯ウ云フ論ガアッテ餘程政府ノ内外ニ異論ガアッタ、急ニ行レナイ  
様ナ有様デアリマシタ、夫レカラ本員ハ丁度其時分内閣……太政官ノ書記官  
見タ様ナコトヲシテ居リマシタガ、其條例ノ得失ハ免モ角モ一旦布告シタモ  
ノチ行ハナイト云フ様ナコトガアルモノヂャナイ、是レハ是非行フガ宜  
イ、又其中ノ箇條ニ不都合ナコトガアルナラバドレ丈ケデモ修正スルガ宜イ  
ケレドモ、一旦政府ガ命令シテ布告シタモノヲ免ヤ角ト云ウテ實際ニ行ハヌ  
ト云フコトハ甚ダ有ルマジキコトデアッテ、一國ノ政治上ノ維持ニ差支ヘル  
ト云フ所カラ、實ハ本員ハマア物好キナコトデアリマシタカ知ラヌケレド  
モ、内務省ニ這入りマシテ夫レカラ之ヲ實行スルコトヲ致シタ、夫レカラ大  
變ニ非難ヲ受ケテ其頃ニハ遂ニハ我々共ヘ脅迫狀ヲ送ッタリ色々ナ冷カシノ  
斬ルトカ研ツルトカ云フ様ナ文章杯モ來タコトモゴザイマス、然レドモ其時  
ニ於テサヘスラ其位反對ノアッタ新聞紙條例デアリマシタケレドモ、今日ノ  
如ク行政官一人ノ腦髓デ其發行ヲ停止スルトカ禁止スルトカ云フ様ナ事ハナ  
カッタデアリマス、諸君モ最早御慮レデアリマセウカラ一應其時ノ新聞紙  
條例ヲ讀ミマスデゴザイマセウ、第一條、凡ソ新聞紙及時々ニ刷出スル雜誌  
雜報ヲ發行セントスル者ハ持主若クハ社主ヨリ其ノ府縣廳ヲ經由シテ願書ヲ  
内務省ニ捧ケ允准ヲ得ヘシ允准ヲ得スシテ發行スル者ハ法司ニ付シ罪ヲ論シ

發行ヲ禁止シ持主若クハ社主及編輯人印刷人各々罰金百圓ヲ科ス其ノ詐テ官准ノ名ヲ冒ス者ハ各々罰金百圓以上二百圓以下ヲ科シ更ニ印刷器ヲ没入ス」是レ杯ハ發行禁止ト云フコトハアリマスケレドモ法司ニ付シ罪ヲ論ジト云フノデアツテ、之ヲ裁判所ヘ持出シテ裁判所デ果シテ罪ガアルトシタ時ニ始メテ禁止スルノデアリマス、第二條、願書ニ學クヘキノ目左ノ如シ、一、紙若クハ書ノ題號、二、刷行ノ定期、三、持主ノ姓名住所、四、編輯人ノ姓名住所、五、印刷人ノ姓名住所、右ノ五目中詐謬アル者ハ發行ヲ禁止行クハ停止シ仍ホ願人ニ向テ十圓以上百圓以下ノ罪金ヲ科ス」是レハマー此條ハ何モ格別ノコトハゴザイマセヌ、第三條、編輯人若クハ編輯人長退任シ若クハ死去スル時ハ假ニ編輯人若クハ編輯人長ヲ定メ刷行スルコトヲ得但シ……」

○渡邊驥君 其位ナ事ハ皆承知シテ居ルノデゴザイマスカラ御止メニナツテハトウデアリマスカ、

○公爵近衛篤磨君 格別必要ノナイ事デアリマスカラ御止メニナツタラドウデスカ、

○男爵伊達宗敦君 尾崎君ニ注意致シタイ、此案ニ附イテハ反對ノ意思ヲ持ツテ居ル者ハナイ、或ハ有ツテモ良心ニ愧ザルカ黙ツテ居テ表面キニ反對ヲ唱ヘル者ハ居リマセヌカラ御止メニナツテモ宜カラウト思ヒマス、

○尾崎三良君 夫レ位ナ諸君ノ意思ナレバヨシマセウ、夫レカラ發行ノ停止禁止ヲシマシタノハ明治十三年十月十二日第四十五條ノ單行布告ヲ以テ「三」許可ヲ經タル新聞紙雜誌報國安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認メタルトキハ内務卿ニ於テ其發行ヲ禁止シ又ハ停止スヘシ」是レハ明治十三年ニ新聞條例改正ノ單行布告ヲ以テ斯ウ云フ事が出タノデアリマス、此時ハ私ハ海外ヘ往ツテ居リマシテドウ云フ理由デ斯ウ云フ事が出マシタカ知リマセヌケレドモ隨分此頃ハ政黨者ガ盛ニアツテ色々ナ危險論ガアリマシタカラ其時ニ取ツテ已ムヲ得ズ斯ウ云フコトヲ出シタラウト本員ハ思ウテ居リマス、デ其政黨者流ノ人氣ガ一時立ツタ時ニハ或ハ己ムヲ得ナカウタカモ知レマセヌガ其事ガ鎮ツタナラバ是レハ廢止セラル、モノデアラウト思ウテ居ル、是レハ一時ノ丁度一昨年魯西亞皇太子ノ時ノ緊急勅令見タ様ナモノデアルト思ウテ居リマシタ、所ガ明治十六年ニ至ツテ又細密ナ新聞紙條例ガ出マシタ、其時モ未ダサウ云フ形勢ガ已マナカッタト見エマシテ發行停止禁止ノ條ガ加ツテ居リマシタ、此時ハ夫レノミナラズ一層嚴密ノ法ガ出テ新聞紙ヲ發行スルモノハ東京ニ於テハ千圓大阪京都神戸橫濱長崎ニ於テハ七百圓其他ハ三百五十圓ノ保證金ヲ前以テ納メ子バナラヌト云フコトニナツタノデゴザイマス、夫レカラ明治二十年ニ又新聞紙條例ヲ改正シテ其時ハ最早

追々議會ノ開設ニ近ヅイテ居ルカラ斯ウ云フモノハ總テ改正シテ幾分カ其方

針ニ向ケナケレバナラヌト云フ論デアリマシタ、所ガ如何セム我々ノ希望シテ居ル所ノ發行停止禁止ト云フモノハ其時モ矢張り殘ツテマダ暫ク斯ウシテ置カナケレバナラヌト云フ説デアリマシタ、是レハ元老院ニハ確カ檢視ニ付セラレテ議スルコトハ出來ナカッタト思ヒス、併ナガラ其時ニ少シ善クナツタノハ人ヲ誹毀譏謗致シタ場合デモ公ケノタメト云フ場合ニハ證據立テナシテ其罪ヲ免レルコトガ出來ルトナツタノガ一ノ進歩デゴザイマス、斯ノ如キ沿革ヲ逐ウテ來テ居リマスカラドウシテモ憲法ヲ行フ場合ニハ憲法ノ精神ニ矛盾スル法律ハドウシテモ改メナケレバナラヌ、夫レ故ニ本員等ハ元老院奉職中ニ新聞紙條例改正ノ意見書ト云フモノヲ提出致シタコトガアル、其時ハ矢張り此發行ノ停止禁止ト云フモノヲ行政官ニ一任セズシテ果シテ治安妨害ナリ風俗壞亂ナリト云フコトニナツタ時ニハ之ヲ裁判所ヘ持ツテ往ツテ裁判所デ裁判ヲ待ツト云フト大變緩慢ニナルニ依ッテ一面ハ警察署デ差押ヘ一面ハ裁判所ニ訴ヘル、所デ之ヲ裁判所デ無罪放免シタ時ニハ差押ヘタ新聞紙ハ放タ子バナラヌ、若シ又有罪トシテ言渡シタ時ニハ之ヲ沒收シテ仕舞フ、此位ノコトデアリマシタガ夫レモ行レナカッタ、斯ノ如ク輿論ト言ヒ又今日ノ立憲政治ニ對シテ並立タナイ此法律ノ條件ヲバ何故ニ存シテ置カニヤナラヌカ、ドウモ之ヲ十分ニ辯明スル人ガナイ、政府委員ト雖モ是レハチヨット見タ所デハ、チヨットデハナイ當リ前ニ見ル所デハ此條件ヲ除クト云フコトハ至極尤ナ道理アルコトデアアル、道理アルコトナレバ何故出來ヌカト言ヘバ夫レハ時勢ガ許サヌ、時勢ト云フコトハ誠ニ漠然タルコトデアアルケレドモ、之ヲ解スレバ何分今ノ政府ニ對シテ不便デアルト云フコトニ違ヒナイ、ケレドモ到底之ヲ以テ政府ノ人望ヲ收メルト云フコトハ……却ツテ反對ノ結果ガナカラウカト本員等ハ思フ、夫レヨリモモット胸襟ヲ披イテ十分言ハセルコトハ言ハセテ、其上誰レガ見テモ罪犯ヲ教唆スル様ナモノデアアルトカ、實ニ國家ヲ顛覆スルト云フ様ナモノデアルトカ云フ時ニハ之ヲ裁判所ニ持ツテ往ツテ相當ノ處分ヲシテ差支ナイデアラウ、人ノ物ヲ言フノチ、段々谷子餘ヨリモ述べラレマシタ通り之ヲ無理ニ止メルト云フコトニナルトソコデハ止ツタ様ダガ横ヘ夫レ丈ケ膨レガ出來テ却ツテ其弊害ノ方ガ多イト云フコトガアル、古ヨリ人ノ口ヲ塞グハ猶ホ河ヲ塞グガ如シト云フコトガアル、是レハ千古ノ格言デアツテ甚ダ得策デナイ、今ノ政府ノタメニシテモ得策デナイ、況ヤ一國ノ人民ノタメニ取ツテハ甚ダ宜シクナイ、夫レカラ今度ノ修正案ニシマスルト七日以内ニシテ理由ヲ示ス、成ル程今マデノ様ニ理由モ示サズ期限モナク停メタヨリモ幾何カ善イカモ知レマセヌガ、若シ此事柄ガ行政官一人ノ腦髓ヲ以テ人ノ罪ヲ定メルト云フ事柄ハ宜クナイカラ改メ子

バナラヌ、改メ子バナラヌト云フコトナレバ何ゾ少シツ、改メルト云フ様ナ

コトナ言フノデアリマスカ、丁度隣ノ鶏ヲ倫ム様ナモノデ、倫ムノガ悪ルイ

ト極マレバ今マデハ五六羽ツ、倫ンデ居ツタガ、倫ムノハ悪ルイカラニツ三

ツ位ニシヤウ、一時ニ止メテハ臺所ニ品ガナクナルト云フコトハ言ハレマ

イ、是レハ絶對的ニ是非必要デアアル、ノミナラズ憲法ニ於テモ必要デアアルト

云フ論ガアレバ或ハ又幾何方レハ一ツノ論ト言ハザルヲ得ヌガサウ云フ者

ハ一人モナイ、是レハ廢メ子バナラヌケレドモ一時ニ廢メルト今マデ倫ミ居

ツタモノガ俄ニナクナルノハ困ルカラマ一少シツ、廢メテ夫レカラ後ニ殘ラ

ズ廢メルト云フノハドウモ是レハ條理ノ立タヌ論デアラウ、夫レカラ政府委

員カラ新聞紙屋ガ迷惑ヲスルト云フコトニ附イテ駁撃ガアリマシテ營業ヲ差

止メルト新聞紙屋ガ迷惑ヲスルト云フケレドモ新聞紙屋ハ普通ノ營業デハナ

イカラ夫レ位ナコトハ平常カラ覺悟ナシテ置カニヤナラヌト云フ御論デアツ

タ、成ル程普通ノ營業デハナイ、夫レデカラコソ初カラ夫レ顯出ロトカ何トカ

彼トカ云フムツカシイ規則ガアル、併ナガラ一旦營業ヲ許シタ以上ハ之ヲ差

止メルト云フ上ニ於テ一人ノ官吏ノ腦髓ニ依ツテ差止メルト云フコトハ是レ

ハ道理ニ背イテ居ル、今日人民ノ權利ト云フモノヲ認メラレタ時ニ於テハ甚

ダ道理ニ背イテ居ル、又差止メル必要ガアルナラバ裁判所ニ持ッテ止メ

ルコトニシナケレバ事理ニ合ハナイ、是レハ擅制時代ノ泣ク兒ト地頭ニハ敵

ハヌ無理ヲ言フ者ダト云フ時代ハ仕方ガナイガ、今日ノ如ク憲法ヲ行ウテ人

民ニ物ヲ言ハセルト云フ時代ニナツテハ新聞紙ナリ演説ナリ言フコトハ十分

ニ言ハレルノデアアル、言ハレル以上ハ人民ニ參政權ヲ與ヘタ以上ハ是非政治

上ノコトモ言ハナケレバナラヌ、言フ場合ニ於テハ現時ノ政治ニ弊ガアルニ

依ツテ改メタイト云フコトモ言フコトハナラヌトハ言ハレナイ、改メタイト

云フニハ今日ノ政府ノ其弊害ノアル所ノ現狀モ言ハナケレバナリマセヌ、シ

テ見ルト其場合ニハ殆ド政府ノ役人ト云フモノハ被告ノ地位ニ立ツテ居ル、

其被告ノ地位ニ立ツテ居ル者ニ言フコトヲ止メル權利ヲ與ヘルノハ理窟ニ適

ハヌ、デ今日ノ内務大臣ハ定メテ能ク物ヲ公平ニセラル、様デ、ソナナコト

ハナイカモ知レマセヌケレドモ、ドウセ内務大臣ガ何デアラウガ彼デアラウ

ガ人間デアアル以上ハ過チガアルト云フコトハ免レマセヌ、依ツテハ今日ノ如

キ場合ニ於テハ何ハ擧置キ發行停止禁止ヲ行政官一人ノ腦髓ニ斷行スル……

斷行シテドコニモ訴フルコトガ出來ナイト云フ様ナコトハ憲法上ノ瑕瑾デア

ルト思フ、ドウカ是レハ滿場ノ諸君並ニ政府ニ於テモ今日ハ元老トモ云ハレ

ル歴々ノ人デアアル以上ハドウカ是レ等ノ擅制時代ノモノハ早ク取除ケテ後世

ニ繼グベキ者ニ善イモノヲ引渡サレルコトヲ望ミマス、マダ大變ニ述ベルコ

ヨシマセウ、

〔加藤弘之君演壇ニ登ル〕

○加藤弘之君 私モ前々カラ此新聞紙條例ニハ大分……條例ヲ其拵ヘルコ

トニハ掛リマセヌ、ケレドモ此會議デハ大分縁ノアツタ男デスカラ少シ簡單

ニ述ベタイ、其原案ト修正案……私ハドチラニシテモ隨分困ツタ案ト思フ、

此原案ト云フモノガ此停止禁止ガ惡ルイカラ其日ノ新聞ダケヲ差押ヘルト、

夫レデナケレバイカヌ、夫レデナイト大變ニ政府ガ此勝手次第ニ條例ヲ利用

シテ治安妨害ト云フ名ヲ附ケテ役人妨害ト云フ様ナモノヲ罰スルト云フ様ナ

コトガ出來ル、其日ノサヘスレバ宜カラウト……翌日ハドウ云フ惡ルイコト

ナ書クカ善イコトヲ書クカ分ラヌカラ甚ダ惡ルイト、夫レハマア一ト通り尤

デアリマスケレドモ、併シ其日ノ差押ヘルト云フノハ殆ド無駄ノ話デ、差

押ヘルマデノ間ニハ大抵出テ仕舞ヒマス、十ノ七八ハ出テ仕舞フ、アトノ僅

ノモノヲ唯差押ヘル、夫レデ何モ差押ヘルト云フ方ノ目途ト云フモノハ少シ

モ達スルコトハ出來ナイ、唯其是レガ惡ルイカラ廢スルト云フ目途ハ達スル

コトハ出來ル、唯其日ノ發賣額ヲ禁ズルト云フ目途ハ殆ド達シナイ位ノモ

ノデアアル、大抵ハ夫レマデニ人ガ讀ンデ仕舞フノデアアル、夫レデ此修正ハ一

週間ト云フコトガ出タ、今マデノ無期ト云フ様ナコトデハ惡ルイ、一週トス

レバ限リガアルカラ餘程其方宜カラウ、サウシテ又三浦君杯ノ御話デハ段

々是レカラ進ンデ行ク階梯ニシテ一週間ニシテ置カウト云フノデ出タ、出タ

ケレドモ又其或人ノ説ヲ聞イテ見ルト一週停メテ夫レカラ直キニ一日許シ

テ直キニ又停メルカモ知レヌ、サウ云フコトモ是レマデ幾ラモアツタ、サウ

云フコトヲ聞イテ見マスルト此奴モ又チ……イト許シテ置イテ又停メテ夫レチ

二三度スレバ同ジコトニナル、一ツ充ニ切レル丈ケノコトデアアル、サウスル

ト此目途ト云フコトハ殆ド先ツ達シナイ様ナモノデアアル、デ一體ノ此禁止停

止ト云フコトハ政府委員ノ説明ノ様ニ都合能ク行ケバ宜シイノデガスケレド

モサウ云フ場合デハナイ、ドウモ其今ノ谷君ノ治安妨害ト云フ様ナコトヲ云

ハレタ様ナコトハ澤山ナイトハ云ヘナイ、夫レカラ或ハ其惡ルイ事ヲ言ヒサ

ウナ時分ニマダ言ハヌ中ニ豫防スルト云フ様ナコトモアルト云フ様ナ評判モ

アルノデ、夫レハ私ハ能ク知リマセヌケレドモソナナ様ナコトデ治安妨害ヨ

リハ却ツテ役人妨害ト云フ様ナ方が澤山アルト云フ様ナコトデアツテハ誠ニ

困ツタコトデアアル、ソコデマ一其ノ事由……事項ト云フモノヲ示サヌカラサ

ウ云フコトガアルガ今度ノハ事項ヲ示スノデアアルカラ夫レダケハマ一少シハ

宜シウゴザイマセウケレドモ、夫レニシテモ事項モ隨分ソノ曖昧ニナツテドウ

デモ言廻ハシテ言ヘナイ様ナ事ハナイ、是レモ決シテ確ト云フ譯ニハドウモ

體修正ノ考ヘガアルノデ、其箇條バカリデナイノデアルカラ今日ノ修正ニハ持出スコトハ出來ナイノデ、唯一應其大畧ノ御話ヲシテ諸君ノ御參考ニ入レテ御考ヘテ願フタメニ唯ザツト御話ヲスルノデアアル、ドウモ斯ウ云フ厄介物デアツテハドウシテモ此儘ニシテ置クコトハ出來ナイ、夫レテ夫レガ惡ルイカラトト言ツテ此治安妨害風俗壞亂ノ取締ヲ盡ク捨テテ仕舞フト云フコトハ私ハ餘程危イコトト思フ、併ナガラ又或ハ一説ニハ此新聞紙條例ノ三十二條トサウシテ三十三條ニアルト、三十二條ニハ治安ノ妨害ノ取締ガ十分附イテ居ル、サウシテ三十三條ニ又風俗壞亂ノ方ノ取締ガ十分ニ附イテ居ルカラ夫レデ此十九條ノ様ナコトハ入ラヌト云フ説ガアルノデ、アリマスルケレドモ私ハ能ク考ヘテ見マスルト是レハ少シ違フ様ニ思ハレル、新聞紙條例ヲ御持チデゴザイマスレバ御持チノ御方ハチヨツト御覽ナスツテ下サルト宜シウゴザイマ

〔子爵津輕承叙君〕加藤君ニチヨツト申上ゲマスガドウカ成ルベク簡單ニ願ヒタイモノデゴザイマス」ト述ブ

一ト通り申シマセメト……ソコデ朝憲ヲ紊亂スルト云フノハ朝憲ハ憲法ト見テ宜カラウ、夫レデ政體ヲ變壞シ憲法ヲ紊亂スルト云フノハ一ト通りノ治安妨害ヨリハ重イコトデアアル、夫レデ此唯今ノ十九條ト云フモノヲ先ヅ其原案ノ通りニ唯其時ノ新聞ヲ差押ヘルト云フバカリデハ治安妨害ノ取締ト云フモノハ此中ニ無クナツテ仕舞フ様ニ思ハレル、新聞紙條例中ニ……夫レデ憲法ヲ紊亂デアリマセメデモ或ハ夫レ程重イコトデナクテモ法律的ノコトヲ妨害スルコトモアリマセウ、或ハソノ政治上ノコトニ附イテ行政上ノ妨害モアリマセウ、サウ云フコトハ朝憲ヲ紊亂スルト云フ様ナ大キナコトニハナラナイ、夫レデアアルカラ此原案ノ通りニシテ仕舞ヒマスルト玆ノ治安妨害ト云フモノハ箇條ガ無クナツテ仕舞フ、夫レデ私ノ望ム所ハ此十九條ト云フ様ナモノハ無クシテ仕舞フサウシテ三十三條ニ根柢ノ新聞紙ヲ發行スルトキハ斯ウ斯ウト云フ罰ガアル、其ノ方ニ……其三十三條ニ治安ヲ妨害シ風俗ヲ壞亂スル新聞紙ヲ發行スルトキハ發行人ヲ斯ウ斯ウト云フ罰ヲ付ケル、サウ云フ鹽梅ニ致シマスルトソノチヨイト今ノ停止ノ様ニ政府ハ決シテ輕クシク出來ルコ

トデハナイ、或ハソノ禁錮ニスルトカ罰金ヲ付ケルトカ云フコトデアアルカラ決シテソノ政府ガ幾ラソノ自分ノ勝手ナコトヲシヤウト考ヘタ所ガ發行停止ヲシタリ禁止ナスル様ニ容易ク出來ルコトデアハナイ、サウ致シマスレバ眞ニソノ治安ノ妨害ハ夫レテ防グコトガ出來ル、唯役人妨害ト云フ様ナコトニ妨ケラレル氣遣ハナイ、サウナレバ政體ヲ變壞シ朝憲ヲ紊亂スル杯ト云フ程デナイ、モウ少シ輕イ所ノ治安妨害ト云フ所ノ罰ガ付ク、ドウシテモ此罰ハ付カ子バナラヌ、併ナガラ是レハ私ノ唯考ヘバカリデアツテ今日ハドウモ仕様ガナイ、今日之ヲ修正ニ出スト云フコトモ何モ出來ナイ、十九條ノ修正デハナイノデ即チ新聞紙條例ノ修正ニナリマスカラ、私ハサウ云フ譯ニ致シマセメト治安妨害ハ別ニ取締ノ法ガ無クナツテ仕舞フト云フコトハ誠ニ困ル、即チ政府ガ政府妨害ヲ罰スルコトガ出來ナイノガ困ル、夫レモ甚ダ困ルケレドモ眞ノ治安妨害ト云フモノノ取締ノ出來ナイノガ又困ル、夫レデ十九條ノ代リニ三十二條三十三條ガアルカラ宜イト云フコトハ出來ナイ、餘程事柄ガ違ヒマスカラ夫レデ今日出スト云フコトハ出來ナイ、私ハ即チ……

○議長〔侯爵蜂須賀賀茂詔君〕 加藤君ニ申シマスガ今日ノ案ニ賛成トカ反對トカ云フコトヲ御述ベニナル様ニ……

○加藤弘之君 是レカラ申シマスノデ、二十條ノ原案ニ賛成スルコトガ出來ナイト云フノハ其譯デ、治安妨害ト云フコトガ九デ新聞紙條例中ニ箇條ガ無クナツテ仕舞フ、私モマダ能ク熟考ヲシタコトハアリマセメガ熟考シテ是レガ宜シイコトナラ此次ニデモ出スコトハ出來マセウガ今度ハ決シテ出スコトハ出來ナイ、是レハ修正案ハドウモ仕様ガナイト思フ、修正案ヂャーガーセメ原案ダ、原案ハドウモ仕様ガナイセメ、修正案モ仕様ガナイセメガ修正案ニハマダ治安妨害ノ取締ノ形ガ殘ツテ居リマスカラ夫レデ其方ガ寧ロ……是レモ決シテ十分トハ思ヒマセメケレドモ今日ハ己ムコトヲ得ズ之ニ賛成シテ置クヨリ仕様ガ無イト云フ考ヘデアリマス、

○議長〔侯爵蜂須賀賀茂詔君〕 最早大抵討論モ盡キタト存ジマスルニ依ツテ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマセウト存ジマス、

〔公爵近衛篤磨君〕チヨツト伺ヒマスガ第二讀會ニ移ルベシト云フノハ原案ヲ賛成スルト云フガハデスナ」ト述ブ

夫レハ念ノタメ申シ置キマスガ、二讀會ニ移ルベキト云フコトデアレバ即チ廢棄セメ方ノ意思ヲ表ハスモノ、移ルベカラズト云フノハ此案ヲ廢棄スル方ノ意思ヲ表ハスモノデゴザイマス、而シテ第二讀會ニ移ツテ後、修正說ニナルルカ原案ニ決スルカ夫レハ第二讀會ニ移ツテ後ノコトデゴザイマス、唯今ハ此案ノ第二讀會ニ移ルベキヤ否ヤノコトデ……

〔侯爵醍醐忠順君〕チヨツト一應伺ヒマス、此案ト申スノハ衆議院カ

ヲ出マシタノガ此案デゴザイマスカ、委員ノ取調ベタノガ此案デゴザイマスカト述ブ

唯今ハ委員ノ修正ハ九デ問題ニハナリマセヌ、唯今ハ此議案ヲ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決デ……

〔侯爵醍醐忠順君〕ソコハモウ分リマシタト述ブ

移リマシタ後、修正ニナルカ原案ニナルカ決スルノデゴザイマス、

〔侯爵醍醐忠順君〕ナルホドト述ブ

本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 過半数ト認メマス、

○子爵小笠原壽長君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレムコトナ

……

○子爵松平信正君 贊成、

○子爵内藤政共君 贊成、

○男爵千家尊福君 小笠原子爵ニ贊成シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 小笠原子爵ヨリ議事日程ヲ變更シ直ニ第二讀會ヲ開クト議フ動議デゴザイマス、此說ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 過半数ト認メマス、議事日程變更ニナリマシテ直ニ第二讀會ヲ開キマス、

暫ク、唯今朗讀ヲ致サセマス、

〔侯爵醍醐忠順君〕第二讀會ニ際シマシテモ……ト述ブ

〔侯爵醍醐忠順君〕ハイト述ブ

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 醍醐侯爵、

○侯爵醍醐忠順君 第二讀會ニ際シマシテ過刻申述ベマシタ通り委員ノ修正案ヲ贊成ヲ致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 他ニ御發議ガゴザリマセ子バ表決ニ付シマス、委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 起立者ガ何分明カデゴザイマセヌカラ氏名點呼ヲ行ヒマス、

〔贊成ト呼ブ者數名アリ〕

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報告ニ及ビマスル、出席總數百八十四、可トスル議員九十四、否トスル議員九十、依ッテ委員ノ修正ニ決シマシテゴザイマス、

男爵四五辻文仲君 議事日程ヲ追加シテ直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス、

○男爵中川興長君 贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 暫ク御靜カニ願ヒマス、西五辻男爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開クト云フ、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 過半数デゴザイマス、直ニ第三讀會ヲ開キマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 直ニ決ヲ採リマスル、第二讀會ノ決議案即チ原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 過半数デゴザイマス、可決セラレマシタ、

○山川浩君 今ノハモウ御濟ニナッタデゴザイマスカ、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 左様デゴザイマス、

○山川浩君 チヨット先達テ本員カラ質問書ノコトデゴザイマスガ松平子爵米津子爵及本員カラ衆議院解散ニ付テノ質問書ヲ出シテ置キマシタガ答辯ガゴザイマセヌデ先達テ議長閣下ヲ煩ハシマシテ催促ニ及ビマシタガ未ダ其返事ガ御手元ヘハ參ッテ居ラヌノデゴザイマスカ、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 未ダ何トモ承リマセヌ、早速其御請求ノ趣ハ申シテ置キマシタ、

○山川浩君 尙ホモウ一應御催促下サル様ニ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 承知致シマシタ、明後日ハ……段々配布ノ後  
 二日ヲ經テ議案モアリマスケレドモ、併シ兼テ度々御相談致シマシタ通り會  
 期モ短イコトデゴザイマスカラ配布ノ後二日ヲ經マセヌデモ明後日ノ議事日  
 程ニ載セルコトニ致ス積リテゴザイマス、別段御異議ガゴザイマセヌケレバ  
 其事ニ致シマス、然ラバ明後日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、午前十時  
 開議、第一、請願委員長伯爵清棲家教君報告、第二、(甲)鐵道比較線路決定  
 ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、緊急事件、第一讀會ノ續、特別委  
 員長報告、第三、(丙)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案、政府提出、衆議院  
 送付、緊急事件、第一讀會ノ續、特別委員長報告、第四、(丁)鐵道比較線路決  
 定ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、緊急事件、第一讀會ノ續、特別委  
 員長報告、第五、鐵道敷設法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、緊急事  
 件、第一讀會ノ續、特別委員長報告、第六、(己)鐵道比較線路決定ニ關スル  
 法律案、政府提出、衆議院送付、緊急事件、第一讀會ノ續、特別委員長報  
 告、第七、實業教育費國庫補助法案、政府提出、衆議院送付、緊急事件、第  
 一讀會、第八、國事ニ關スル犯罪ノ爲メ諸祿ヲ沒收セラレタル者ニ關スル法  
 律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、第九、紙幣  
 模造取締法案、第二讀會、第十、國稅徵收法中改正法律案、政府提出、衆議  
 院送付、第一讀會、第十一、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、第  
 十二、明治二十二年勅令第四百一十一號第一條改正法律案、政府提出、衆議院  
 送付、第一讀會、第十三、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、第十  
 四、明治二十三年法律第四號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀  
 會、第十五、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、第十六、軍用電信  
 條例法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第十七、右議案ノ審査ヲ付  
 託スベキ特別委員ノ選舉、第十八、沖繩縣八重山島風土病驅除建議案、會  
 議、本日ハ散會、

午後四時二分散會